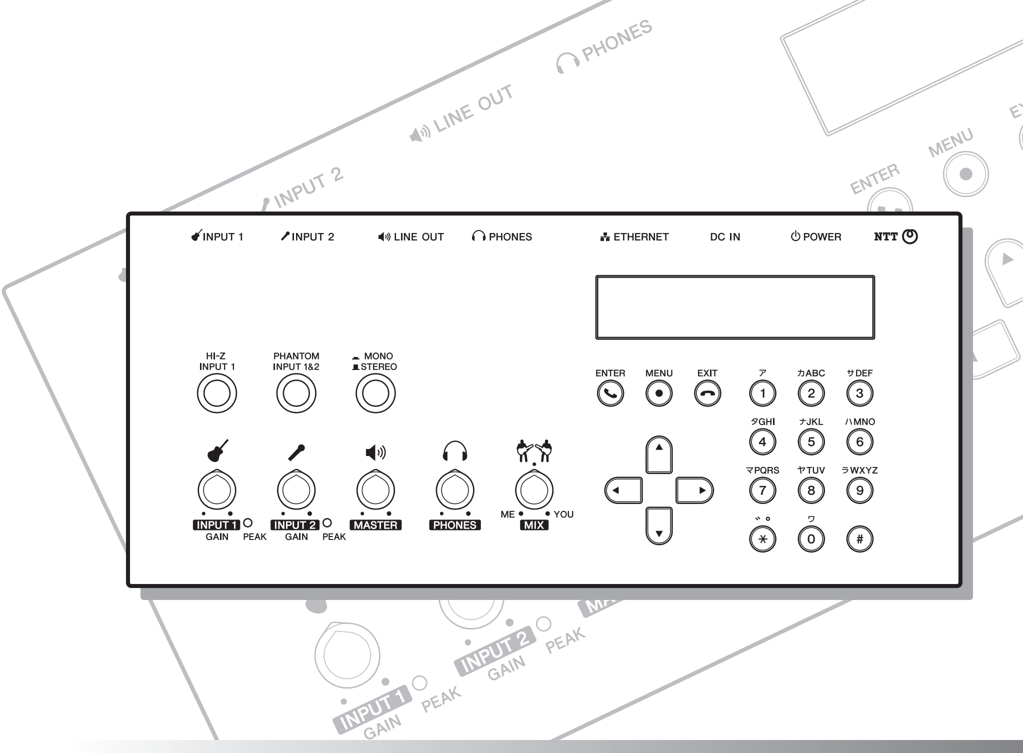
ひかりDUETTO　NY1

取扱説明書

このたびはひかりDUETTO　NY1をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

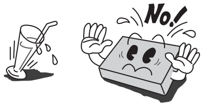
本商品は、クラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障がいを引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

- 本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制対象貨物に該当いたします。本商品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを「初期化を行うには」(☛P72) にしたがって消去する必要があります。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- Windows®, Windows Vista®, Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac®またはMacintosh®, Safari®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Google Chrome®は、Google Inc. の登録商標です。
- Mozilla Firefox®は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品では、機能や操作性向上のために、不定期に製品本体のファームウェアをアップデートすることがあります。お使いの本体ファームウェアを最新バージョンにアップデートされることを推奨します。
- なおこの取扱説明書では、本書制作時のバージョンで説明しております。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧したあとは動作を確実にするため、一度電源アダプタを電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析(逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど)、コピー、販売、改造を行うことを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

本商品の設置場所について

⚠警告

● 本商品や電源アダプタのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



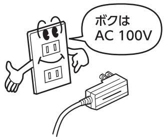
● 本商品や電源アダプタを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 屋外や、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかるおそれがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

本商品のお取扱いについて

⚠警告

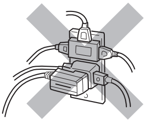
● 電源は、AC(交流)100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源アダプタは必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電や故障の原因となることがあります。

● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

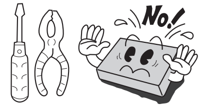
● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、イーサネットケーブルをそれぞれ電源コンセントやイーサネット端子から抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 万一、本商品を落としたり、破損した場合または、本商品内部や電源アダプタ、電源プラグ、イーサネットケーブルのコネクタ、イーサネット端子に異物や水などが入った場合は、電源プラグ、イーサネットケーブルをそれぞれ電源コンセント、イーサネット端子から抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
また、イーサネットケーブルのコネクタ部分がぬれた場合は、乾いても、そのイーサネットケーブルを使わないでください。

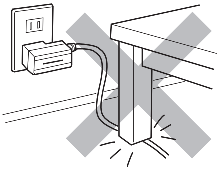
本商品のお取扱いについて (つづき)

⚠警告

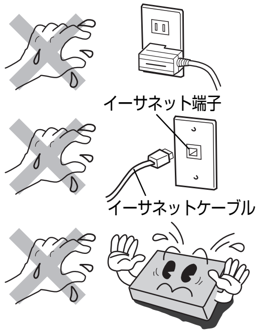
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください(分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります)。



- 電源アダプタコードおよびイーサネットケーブルや本商品を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタコードおよびイーサネットケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードおよびイーサネットケーブルが傷んだ場合、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



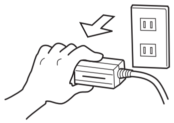
- 電源アダプタコードおよびイーサネットケーブルの配線などが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、イーサネットケーブルをそれぞれ電源コンセント、イーサネット端子から抜いて当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品や電源アダプタ、イーサネットケーブル、イーサネット端子に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグ、イーサネットケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグやイーサネットケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグやイーサネットケーブルが電源コンセントやイーサネット端子に差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

● 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



● 本商品や電源アダプタコード、イーサネットケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

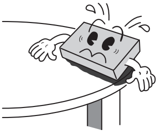
● 近くに雷が発生したときは、電源プラグ、イーサネットケーブルをそれぞれ電源コンセント、イーサネット端子から抜いて、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品の通風孔やパネルのすき間などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグ、イーサネットケーブルをそれぞれ電源コンセント、イーサネット端子から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に、小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。

本商品の設置場所について

⚠注意

● 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



本商品のお取扱いについて

⚠注意

● 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

● 本商品を電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。本商品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

● 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本商品のお取扱いについて (つづき)

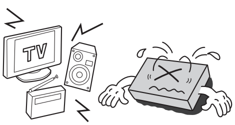
⚠ 注意

- すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続してください。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にしてください。感電、聴力障がいまたは機器の損傷の原因になります。
- 演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にしてください。聴力障がいまたは機器の損傷の原因になります。
- モニタースピーカの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にモニタースピーカの電源を入れてください。また、電源を切るときは、最初にモニタースピーカの電源を切ってください。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルが変色/変質する原因になります。
- 本体の上に重いものをのせないでください。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えないでください。本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。
- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴力障がいの原因になります。
- 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。本体のパネルが変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。
- 通信を行う相手方にも本商品を接続してください。本商品以外の音声端末との接続ではご利用できません(IPv4インターネットモードの場合は相手方に本商品以外にもNETDUETTO βを接続することが可能です)。
- 本商品は110番、118番、119番等へ発信しても通話できません。110番、118番、119番等への発信は他の電話機をご利用ください。

本商品の設置場所について

STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。

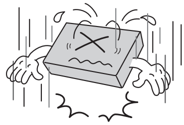


  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障がいの原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品などの設置場所を移動してください。
- 硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

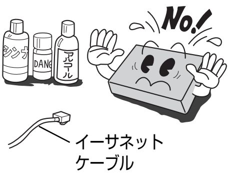
本商品のお取扱いについて

STOP お願い

● 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



● 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、イーサネットケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。



● ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

廃棄(または譲渡、返却)される場合のご注意

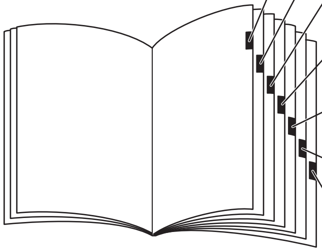
● 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを「初期化を行うには」(☛P72)にしたがって消去する必要があります。

● 本商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは最寄の自治体にお問い合わせください。

取扱説明書の見かた

本書は下記のように構成されています。

■ この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
本商品の特長や注意事項、最初に必ず確認していただきたいことについて説明しています。

2 ご利用の準備
商品の接続方法などについて説明しています。

3 本商品の設定のしかた
本商品をお使いいただくための設定について説明しています。

4 本商品の使いかた
本商品で音楽セッションをする方法について説明しています。

5 ご参考に
本商品の初期化方法などについて説明しています。

6 お困りのときには
本商品がうまく動かないなど、お困りのときにお読みください。

7 付録
文字入力の方法や本商品の仕様、保証とアフターサービスの案内などについて記載しています。

お知らせ

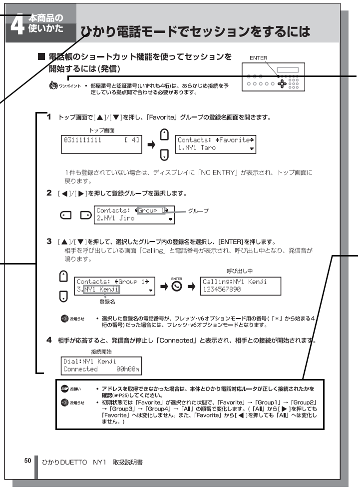
- ご利用になる際には、接続するネットワークおよびひかり電話対応ルータなどの取扱説明書を参照してください。
- 本書では、NTT東日本　ひかり電話ルーター /NTT西日本　ひかり電話対応ホームゲートウェイをひかり電話対応ルータと称します。

■ 操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。


4 本商品の使いかた

ひかり電話モードでセッションをするには

■ 電話帳のショートカット機能を使ってセッションを開始するには(発信)

ワンポイント • 部屋番号と認証番号(いずれも4桁)は、あらかじめ接続を予定している拠点間で合わせる必要があります。

1 トップ画面で[▲]/[▼]を押し、「Favorite」グループの登録名画面を開きます。

1件も登録されていない場合は、ディスプレイに「NO ENTRY」が表示され、トップ画面に戻ります。

2 [◀]/[▶]を押して登録グループを選択します。

3 [▲]/[▼]を押して、選択したグループ内の登録名を選択し、[ENTER]を押します。
相手を呼び出している画面「Calling」と電話番号が表示され、呼び出し中となり、発信音が鳴ります。

お知らせ • 選択した登録名の電話番号が、フレッツ･v6オプションモード用の番号(「*」から始まる4桁の番号)だった場合には、フレッツ･v6オプションモードとなります。

4 相手が応答すると、発信音が停止し「Connected」と表示され、相手との接続が開始されます。

お願い • アドレスを取得できなかった場合は、本体とひかり電話対応ルータが正しく接続されたかを確認(☞P25)してください。
お知らせ • 初期状態では「Favorite」が選択された状態で、「Favorite」→「Group1」→「Group2」→「Group3」→「Group4」→「All」の順番で変化します。(「All」から[▶]を押しても「Favorite」へは変化しません。また、「Favorite」から[◀]を押しても「All」へは変化しません。)

50 ひかりDUETTO　NY1　取扱説明書

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願い または お知らせ
《お願い》
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
《お知らせ》
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください 2
取扱説明書の見かた 8
　この取扱説明書の構成 8
　操作説明ページの構成 8
目　次 9

1 お使いになる前に

本商品でできること 10
　特長 10
セットを確認してください 12
　構成品 12
各部の名前と機能 13
　上面図 13
　背面図 14
　ディスプレイの見かた 15

2 ご利用の準備

フレッツ 光ネクスト(ひかり電話)と接続するには 16
　本体の接続例 16
　ひかり電話対応ルータと接続するには 17
　ひかり電話モード 17
　フレッツ･v6オプションモード 18
　IPv4インターネットモード 18
楽器やモニタースピーカを接続するには 19
　電子ピアノやシンセサイザを接続するには 19
　ギターやベースを接続するには 19
　マイクロフォンを接続するには 20
　モニタースピーカを接続するには 21
本商品の電源を入れるには 22
　電源の準備 22
　電源を入れる 23

3 本商品の設定のしかた

正しく接続されたかを確認するには 25
　本体とひかり電話対応ルータが
　　正しく接続されたかを確認するには 25
　本体と楽器やモニタースピーカが
　　正しく接続されたかを確認するには 25
ネットワーク設定を行うには 26
　IPアドレスを自動取得するには 26
　IPアドレスを手動設定するには 27
　現在設定値を確認するには 29
オーディオ設定を行うには(全通信モード共通) 31
　入力音のボリューム調節をするには 31
　出力音のボリューム調節をするには 31
オーディオ設定を行うには(ひかり電話モードでの設定) 32
　着信音量を調節するには 32
オーディオ設定を行うには(ひかり電話モード、
　フレッツ･v6オプションモードでの設定) 33
　自拠点の入力音の遅延を調節するには 33
　他拠点の入力音のオーディオデバイス
　　バッファサイズを調節するには 34
　自拠点と他拠点の音量バランスを調節するには 35
　自拠点の入力音のパンポット
　　(入力音の音像の定位)を調節するには 35
　他拠点の入力音の音量を調節するには 36
　他拠点の入力音のパンポットを調節するには 37
　他拠点の入力音の受信バッファサイズを調節するには 38
　遅延状況を確認するには 39
オーディオ設定を行うには
　(IPv4インターネットモードでの設定) 40
　IPv4インターネットモードのオーディオ設定を行うには 40
電話帳設定を行うには 41
　電話帳に登録するには(ひかり電話の電話番号、
　　フレッツ･v6オプションモードで利用する部屋番号) 41
　電話帳に新規登録する 41
　電話帳の登録を変更するには 42
　電話帳の登録を削除するには 44
ナンバー・ディスプレイを利用するには 45
　電話をかけてきた相手の名称を電話に出る前に確認 45
　ナンバー・ディスプレイの表示 45
パワーマネジメント設定を行うには 46
　ディスプレイのバックライトを
　　消すまでの時間を設定するには 46
　ローパワーモードに入るまでの時間を設定するには 47

4 本商品の使いかた

ひかり電話モードでセッションをするには 48
　電話番号を入力してセッションを開始するには(発信) 48
　電話帳を使ってセッションを開始するには(発信) 49
　電話帳のショートカット機能を使って
　　セッションを開始するには(発信) 50
　着信に応答してセッションを開始するには(着信) 51
　セッションを切断するには 51
オプションモードでセッションをするには
　(フレッツ･v6オプションモード) 52
　部屋番号を入力してセッションを開始するには 52
　電話帳を使ってセッションを開始するには 53
　電話帳のショートカット機能を使って
　　セッションを開始するには 54
　セッションを切断するには 55
オプションモードでセッションをするには
　(IPv4インターネットモード) 56
　パソコンから本体を検出するには 56
　IPv4インターネットモードによる接続 60
　ブラウザ画面について 61

5 ご参考に

メニュー構成 71
　メニュー構成 71
　接続中メニュー構成 71
初期化を行うには 72
　システムイニシャライズ 72
　ファクトリーリセット 73
ファームウェアを更新するには 74
　起動後の初回確認 74
　定期確認 74
　手動アップデート確認 75
　パソコンからのファームウェア更新 76

6 お困りのときには

故障かな？と思ったら 77

7 付録

文字入力について 78
　文字入力の方法 78
　番号入力の方法 78
　数字ボタンへの文字/数字の割り当て表 79
用語の説明 80
索引 82
仕様 84
保守サービスのご案内 85
オープンソースソフトウェアのご使用条件 86

本商品でできること

■ 特長

ひかり電話を利用した遠隔地間でのセッションが可能です。

● ひかり電話モード

遠隔地にいる人同士での電話回線を通じた音楽セッションが可能になります。電話回線として、NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ 光ネクスト」および「ひかり電話」が通信を優先制御/帯域確保するので、遠隔地であっても、高品位なセッションが可能です。

お知らせ

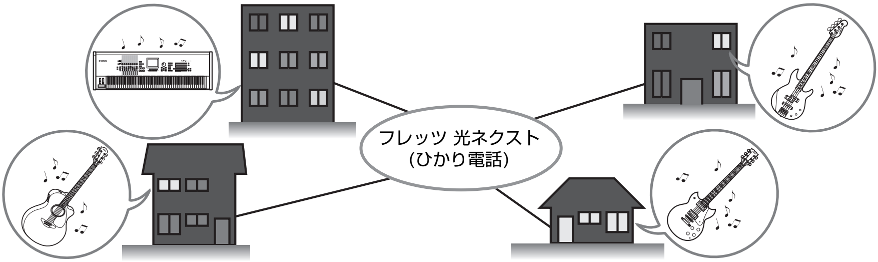
- 本接続モードはフレッツ 光ライトのひかり電話サービスに加入されている場合もご利用いただけます。

お願い

- 「ひかり電話」サービスへの加入が必要です。
- ひかり電話モードでセッションをする場合、通信を行う相手方にも本商品を接続してください。本モードでは、本商品以外の音声端末との接続ではご利用できません。
- 本商品は110番、118番、119番等へ発信しても通話できません。
  110番、118番、119番等への発信は他の電話機をご利用ください。

フレッツ･v6オプションを利用した複数拠点間でのセッションが可能です。

● フレッツ･v6オプションモード



お知らせ

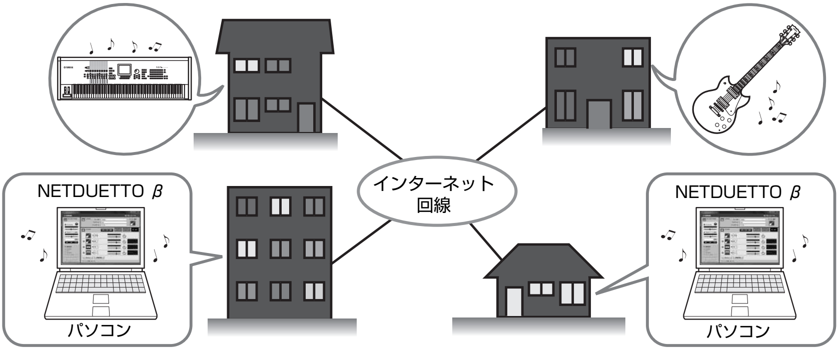
- 接続可能な拠点のエリアはフレッツ･v6オプションサービスの提供エリアに依存します。

お願い

- 「フレッツ･v6オプション」サービスへの加入が必要です。
- 本接続モードはフレッツ 光ライトではご利用できません。フレッツ 光ネクストへの加入が必要となります。
- 本接続モードは、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。
- フレッツ･v6オプションモードでセッションをする場合、通信を行う相手方にも本商品を接続してください。本モードでは、本商品以外の音声端末との接続ではご利用できません。
- 本商品は110番、118番、119番等へ発信しても通話できません。
  110番、118番、119番等への発信は他の電話機をご利用ください。

インターネットを利用した複数拠点間でのセッションが可能です。

● IPv4インターネットモード



お知らせ

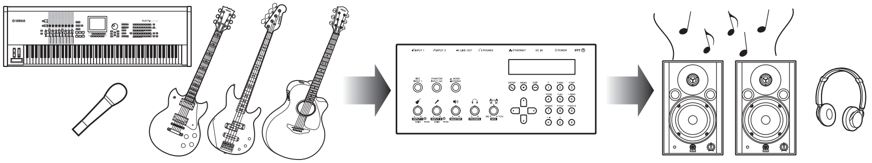
- パソコンなどから本体にログインし、リモートで操作を行います。
- NETDUETTO βとの接続が行えます。
- NETDUETTO βとの接続は、全ての回線での接続を保証するものではありません。
- インターネットの性質上、回線の混雑状況などによってご利用いただけない場合があります。
- NETDUETTO βについては以下のURLをご覧ください。
  http://www.y2lab.com/project/netduetto/

STOP お願い

- **本接続モードは、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。**

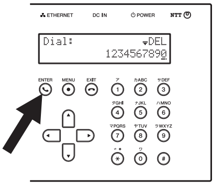
楽器を接続することが可能です。

ギター、ベースをはじめ、電子楽器やマイクロフォンを接続して演奏をお楽しみいただけます。



簡単操作でセッションを開始することが可能です。

ひかり電話モードとフレッツ･v6オプションモードの場合、本体のダイヤル操作だけでセッションを開始することが可能です。



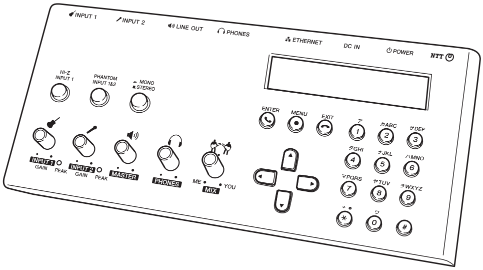
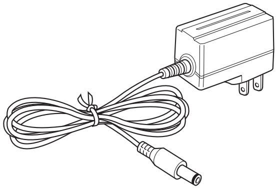
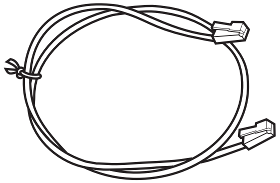
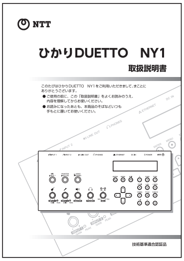
お知らせ

- 本商品を使うには、「フレッツ 光ネクスト」および「ひかり電話」の契約が必要です。
  契約については、以下のURLをご覧ください。
  NTT東日本：http://flets.com/next/
  NTT西日本：http://flets-w.com/next/

セットを確認してください

■ 構成品

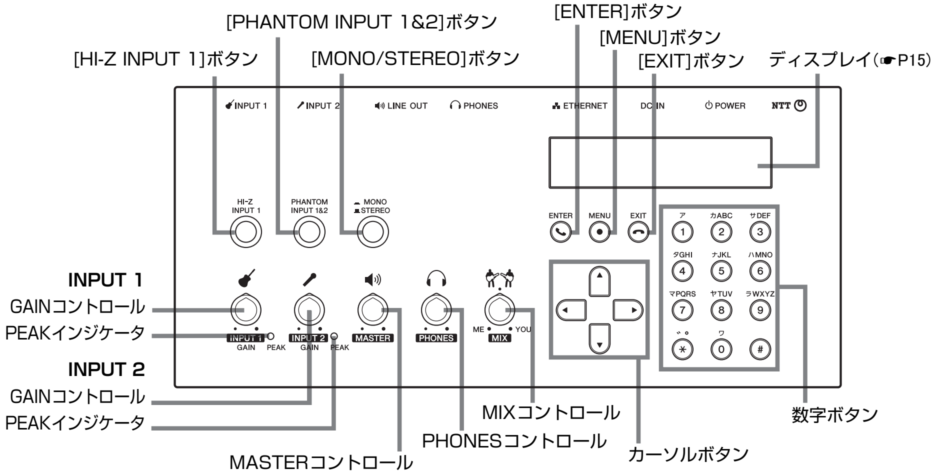
接続を始める前に、構成品が全てそろっていることを確認してください。

① 本体 (1 台) 	② 電源アダプタ (1 個) 
③ イーサネットケーブル (1 本 /1m) 	④ 取扱説明書 (本書 1 冊) 
⑤ 保証書 (1 枚) ⑥「光 LINK」シール (1 枚)	

● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。
● イラストと形状が異なる場合があります。

各部の名前と機能

■ 上面図



● 各部の機能

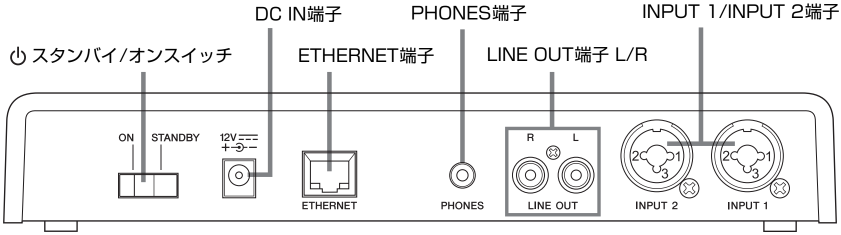
名　前	機　能
[HI-Z INPUT 1] (ハイインピーダンス)ボタン	エレキギターやエレキベースのようにインピーダンスの高い楽器を本商品に直接つなぐためのものです。
[PHANTOM INPUT 1&2] (ファンタム)ボタン	コンデンサマイクなど、電気が必要な機器に電源を供給するためのものです。
[MONO/STEREO] (モノ/ステレオ)ボタン	アナログ入力端子 1 と 2 をモノラルチャンネルとして使用するか、ステレオチャンネルとして使用するかを切り替えるボタンです。
[ENTER] (エンター)ボタン	入力の決定やメニューに入るときに使用します。また、発信を行う場合や着信に応答する場合に使用します。
[MENU] (メニュー)ボタン	メニューに入るときに使用します。
[EXIT] (エグジット)ボタン	1つ前の画面に戻るときに使用します。また、通信を切る場合に使用します。
ディスプレイ	20桁×2行キャラクターのディスプレイです。電話番号や設定項目を表示します。
INPUT 1/2 GAIN(インプット 1/2 ゲイン)コントロール/ PEAK(ピーク)インジケータ	入力信号のゲイン(信号の増幅量)を調節します。信号の最大入力時にPEAK(ピーク)インジケータが一瞬点灯する程度にGAIN(ゲイン)コントロールを設定すると、入力レベルのバランスがとれた良好な状態になります。
MASTER(マスター) コントロール	LINE OUT(ラインアウト) 端子に出力される信号のレベルを調節します。アナログ入力端子に入力された信号の音量バランスを変化させることなく、全体の音量だけを調節します。
PHONES(ヘッドフォン) コントロール	PHONES(ヘッドフォン)端子に出力される信号のレベルを調節します。この信号のレベルは、MASTER(マスター)コントロールの影響を受けません。
MIX(ミックス) コントロール(ME—YOU)	アナログ入力端子に入力された信号(ME)と、ネットワークに接続している他拠点からの信号(YOU)の音量バランスを調節します。
カーソルボタン	[▲]/[▼]はメニューの切り替えや設定値の切り替えをする場合に使用します。 [◀]/[▶]は文字入力時のカーソル移動などに使用します。
数字ボタン	番号、文字を入力する場合に使用します。

各部の名前と機能

● ランプ表示

ランプの種類	ランプのつきかた	状　態	参照ページ
PEAK(ピーク)インジケータ	消灯	入力がないか、入力が小さいとき	「入力音のボリューム調節をするには」(☛P31)
	点灯	入力が大きすぎるとき	

■ 背面図



● 各部の機能

名　前	機　能
⏻ スタンバイ/オンスイッチ	電源を切/入します。
DC IN端子	付属の電源アダプタを接続する端子です。
ETHERNET (イーサネット)端子	ETHERNET (イーサネット)ケーブルを使って、ひかり電話対応ルータと接続します。
PHONES (ヘッドフォン)端子	ヘッドフォンを接続します。この端子は、アナログ入力端子に入力された信号や、ETHERNET (イーサネット)端子で受信した、ネットワークに接続している他拠点からの信号を出力します。出力レベルは、PHONES (ヘッドフォン)コントロールで調節します。この端子から出力される信号は、MASTER (マスター)コントロールの影響を受けません。
LINE OUT (ラインアウト)端子 L/R (左/右)	モニタースピーカ(パワーアンプを内蔵したスピーカ)などを接続します。この端子は、アナログ入力端子に入力された信号や、ETHERNET (イーサネット)端子で受信したネットワークに接続している他拠点からの信号を出力します。出力レベルは、MASTER (マスター)コントロールで調節します。
INPUT 1(アナログ入力端子1)/INPUT 2(アナログ入力端子2)	マイクやギターなどを接続します。この端子には、出力端子がXLR タイプまたはフォーンタイプ(1/4"TSまたは1/4"TRS)の機器を接続が可能です。この端子に入力された信号はLINE OUT (ラインアウト)端子L/R(左/右)とETHERNET (イーサネット)端子経由でネットワークに接続している他拠点に送られます。

■ ディスプレイの見かた

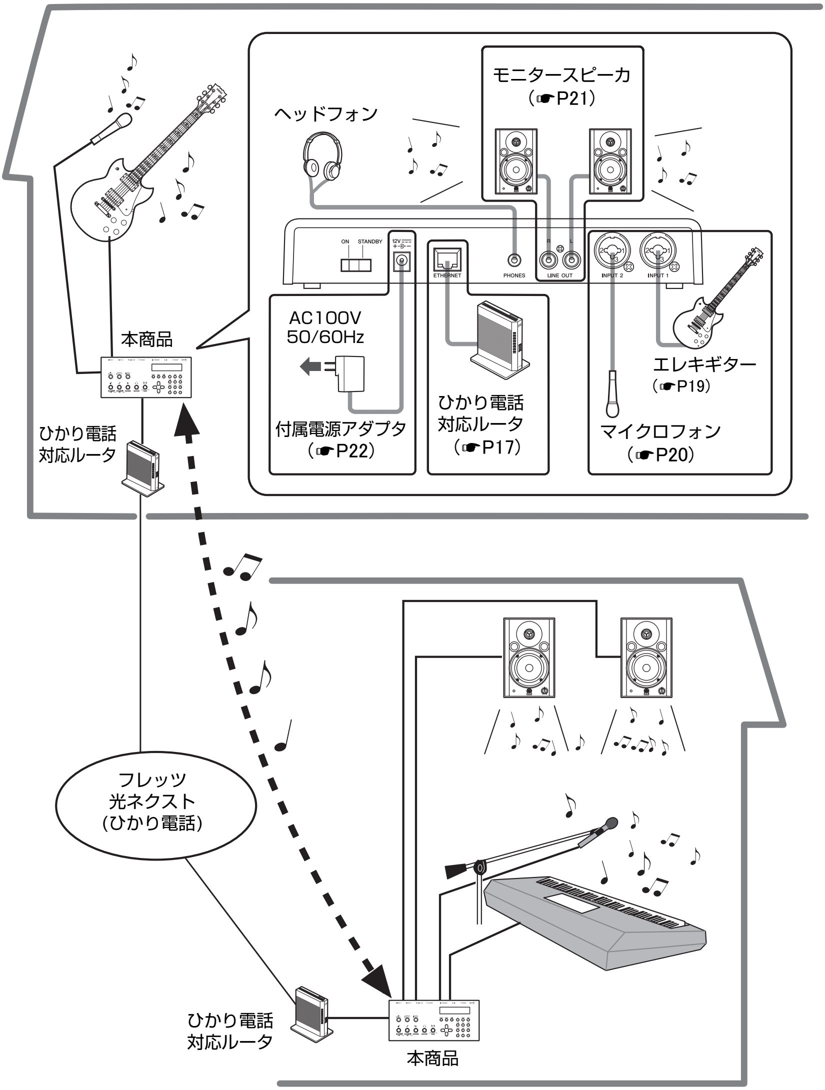
● ディスプレイの表示例

電源オン時 (トップ画面)	0311111111　　　[4]	外線番号と[ ]で内線番号を表示します。動作中でも、[MENU] ボタンを押して[EXIT] ボタンを押すことによってもこの画面が表示されます。
発信中表示	Calling:0312345678 0312345678	ひかり電話モードで電話帳に登録がない番号に発信するときは番号だけが表示されます。
	Calling:ﾄｳﾛｸﾒｲ 0312345678	ひかり電話モードで電話帳に登録がある番号に発信するときは電話帳の登録名と電話番号が表示されます。
	Dial:Multi *1234 Calling	フレッツ･v6オプションモードで発信するときは部屋番号が表示されます。
着信中表示	Incoming:0312345678 0312345678	電話帳に登録がない番号から着信すると着信した電話番号が表示されます。
	Incoming:ﾄｳﾛｸﾒｲ 0312345678	電話帳に登録がある番号から着信すると電話帳の登録名と着信番号が表示されます。
セッション中表示	Dial:0312345678 Connected　　01h10m	ひかり電話モードで電話帳に登録がない拠点とのセッション中は、他拠点の番号とセッション時間を表示します。最大表示時間は99h59m(99時間59分)でこれ以上は点滅表示になります。
	Dial:ﾄｳﾛｸﾒｲ Connected　　01h10m	ひかり電話モードで電話帳に登録がある拠点とのセッション中は、他拠点の登録名とセッション時間を表示します。最大表示時間は99h59m(99時間59分)でこれ以上は点滅表示になります。
	Dial:Multi *1234 Server Check OK　0/3	フレッツ･v6オプションモードで自拠点以外の拠点が接続してない場合 "0/3"と表示されます。
	Dial:Multi *1234 Connected　1/3	フレッツ･v6オプションモードで他の拠点がセッションに接続すると、接続中の拠点数が表示され、他拠点が1拠点の場合は「1/3」と表示されます。
	LOCKED BY WEB FORCE UNLOCK→ EXIT	IPv4インターネットモードでセッション中に表示されます。[EXIT]ボタンで接続を切断できることを表示します。
切断	Dial:0312345678 Disconnected　01h10m	ひかり電話モードで電話帳に登録がない拠点とのセッションを切断するときに表示されます。
	Dial:ﾄｳﾛｸﾒｲ Disconnected　01h10m	ひかり電話モードで電話帳に登録がある拠点とのセッションを切断するときに表示されます。
	Dial:Multi *1234 Disconnected	フレッツ･v6オプションモードでセッションを切断するときに表示されます。
設定表示	Menu 1.Contacts　　▼	セッション中ではないときに[MENU]ボタンを押すと、設定可能な設定項目が表示されます。[▲]/[▼]ボタンで設定項目を変更します。
	Dial:Menu 1.Monitor Setting　▼	セッション中に[MENU]ボタンを押すと、セッション中に設定可能な設定項目が表示されます。[▲]/[▼]ボタンで設定項目を変更します。
その他	New Firm Update Now? YES[ENTER]/NO[EXIT]	本商品の電源をオンしたときに新しいファームウェアがある場合に表示されます。

フレッツ 光ネクスト(ひかり電話)と接続するには

■ 本体の接続例

本商品は、フレッツ 光ネクストのひかり電話対応ルータと接続して使用します。接続イメージは以下の通りです。



⚠ **警告**

- **電源アダプタは必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。また、付属のアダプタは絶対に他の製品に使用しないでください。火災・感電や故障の原因となることがあります。**

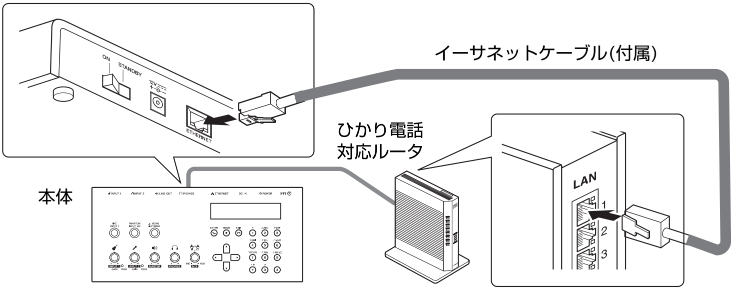
STOP お願い

- **楽器やモニタースピーカを本商品に接続する場合は、必ず全ての電源を切った状態で行ってください。**

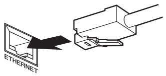
■ ひかり電話対応ルータと接続するには

本商品とひかり電話対応ルータを付属のイーサネットケーブルを使って接続します。

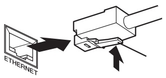
お願い　• **イーサネットケーブルの接続は、必ず全ての電源を切った状態で行ってください。**



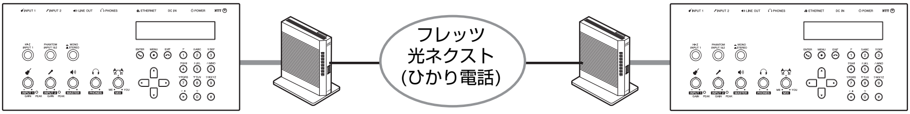
※イーサネットケーブルを差し込むとき
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



※イーサネットケーブルを抜くとき
レバーを押さえながら抜いてください。



■ ひかり電話モード

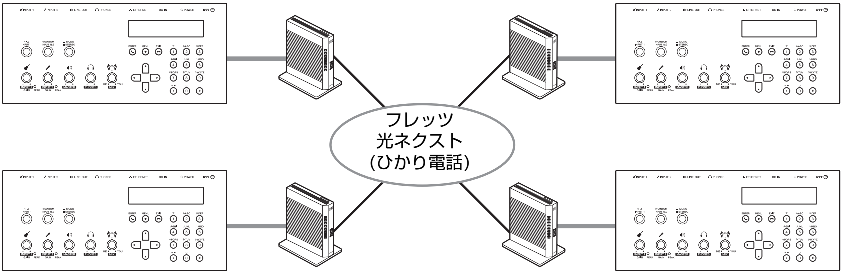


お知らせ　• 本接続モードはフレッツ 光ライトのひかり電話サービスに加入されている場合もご利用いただけます。

お願い　• **「ひかり電話」サービスへの加入が必要です。**

フレッツ 光ネクスト(ひかり電話)と接続するには

■ フレッツ・v6オプションモード



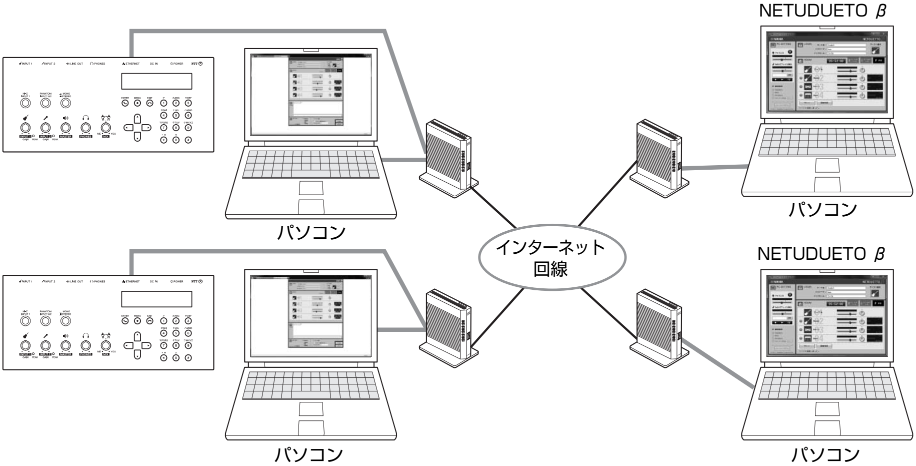
お知らせ

- 接続可能な拠点のエリアはフレッツ・v6オプションサービスの提供エリアに依存します。
- 接続可能な拠点数は最大で4拠点です。

お願い

- **「フレッツ・v6オプション」サービスへの加入が必要です。**
- **本接続モードはフレッツ 光ライトではご利用できません。フレッツ 光ネクストへの加入が必要となります。**
- **本接続モードは、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。**

■ IPv4インターネットモード



お知らせ

- パソコンなどから本体にログインし、リモートで操作を行います。
- NETDUETTO βとの接続が行えます。
- NETDUETTO βとの接続は、全ての回線での接続を保証するものではありません。
- インターネットの性質上、回線の混雑状況などによってご利用いただけない場合があります。

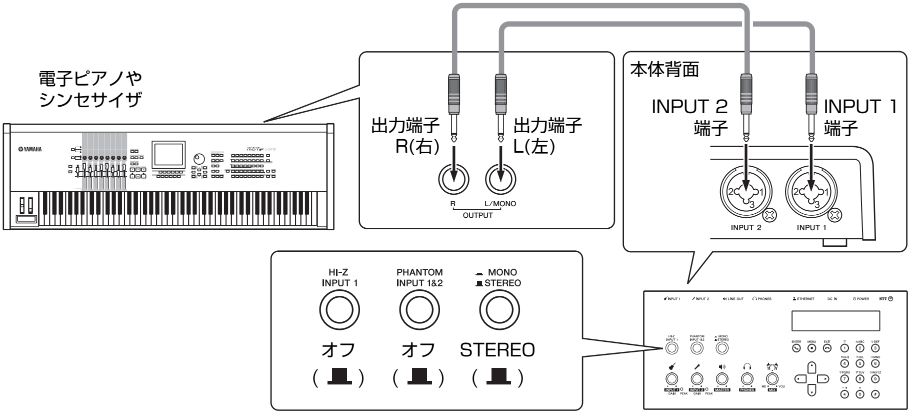
お願い

- **本接続モードは、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。**
- **本接続モードをフレッツ 光ライトでご利用の場合は、従量課金となります。**
- **フレッツ 光ライトについては、NTT東日本もしくはNTT西日本のホームページをご覧ください。**

楽器やモニタースピーカを接続するには

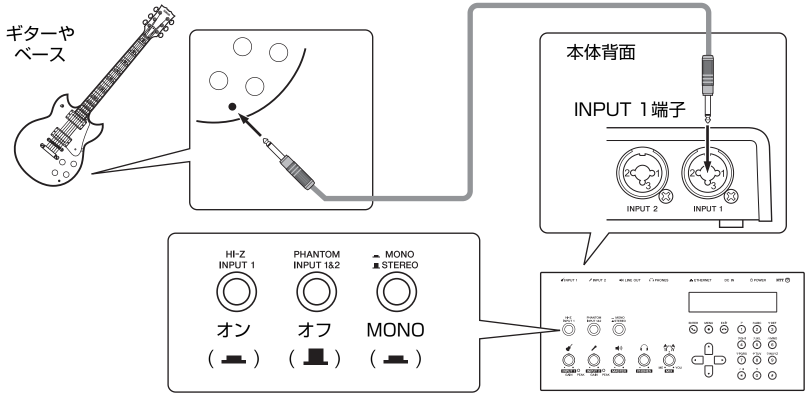
■ 電子ピアノやシンセサイザを接続するには

楽器のL (左)出力端子を本商品のINPUT 1端子に、R (右)出力端子をINPUT 2端子につなぎます。
[MONO/STEREO](モノ/ステレオ)ボタンはSTEREO( )に、[HI-Z INPUT 1]ボタンと[PHANTOM INPUT 1&2](ファンタム)ボタンはオフ( )にします。



■ ギターやベースを接続するには

楽器の音声出力端子を本商品のINPUT 1端子につなぎます。
[MONO/STEREO](モノ/ステレオ)ボタンはMONO( )に、[HI-Z INPUT 1]ボタンはオン( )に、[PHANTOM INPUT 1&2](ファンタム)ボタンはオフ( )にします。



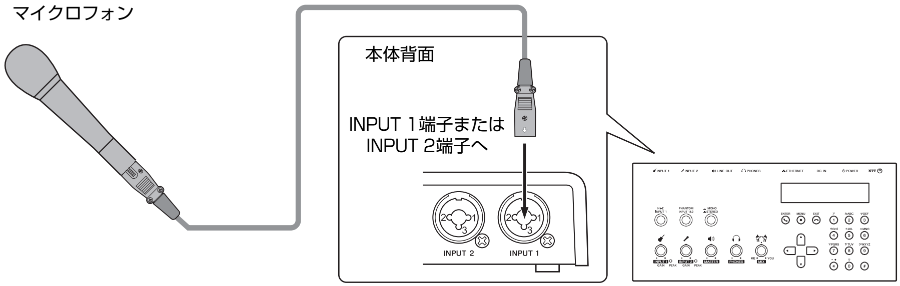
お知らせ

- [HI-Z INPUT 1] ボタンをオン( )にしてエレクトリックギターなどを接続する場合は、楽器とアナログ入力端子1(INPUT 1)をアンバランス方式のフォーンケーブルで接続してください。バランス方式やXLR ケーブルで接続した場合は、正常に動作しません。
- アナログ入力端子1(INPUT 1) に機器を接続しない場合は、[HI-Z INPUT 1] ボタンをオフ( )にしておいてください。オンにすると、ノイズが入ることがあります。

楽器やモニタースピーカを接続するには

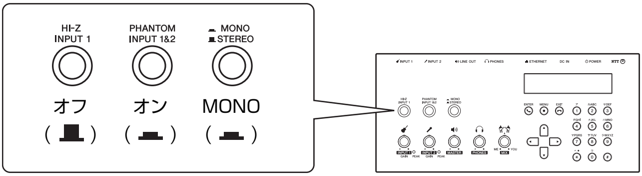
■ マイクロフォンを接続するには

マイクロフォンの出力端子を本商品のINPUT 1端子またはINPUT 2端子につなぎます。



[MONO/STEREO](モノ/ステレオ)ボタンをMONO( )に、[HI-Z INPUT 1]ボタンをオフ( )にします。
マイクロフォンがコンデンサマイク(電気の供給が必要なマイク)の場合は[PHANTOM INPUT 1&2](ファンタム)ボタンをオン( )にします。コンデンサマイク以外のマイクの場合はオフ( )にします。

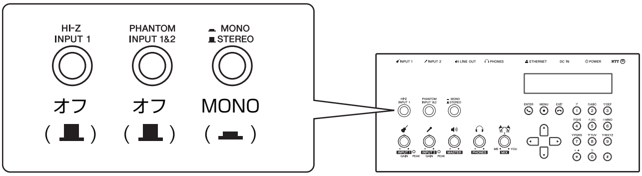
● コンデンサマイク(電気の供給が必要なマイク)の場合



⚠ **注意**

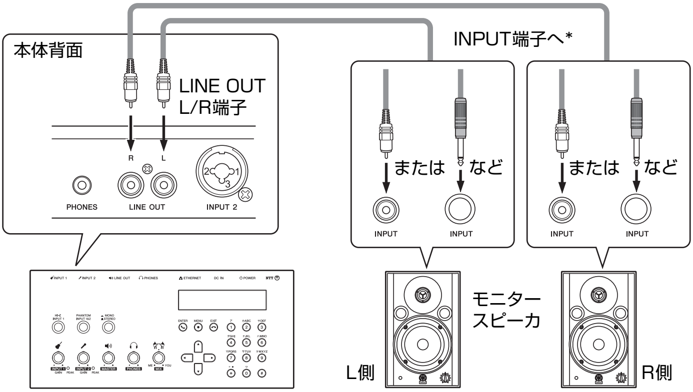
- **ファンタム電源が不要なときは、必ずオフ( )にしておいてください。**
- **ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサマイクなどのファンタム電源を必要とする機器以外が接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。**
- **ファンタム電源をオン( )にしたまま機器を抜き差ししないでください。外部機器および本体の故障の原因になります。**
- **モニタースピーカ保護のために、モニタースピーカの電源をオフの状態で、ファンタム電源をオン/オフしてください。また、MASTER (マスター)コントロールなどの出力コントロールは、全て最小にしておいてください。**

● コンデンサマイク以外のマイクの場合



■ モニタースピーカを接続するには

モニタースピーカ(パワーアンプを内蔵したスピーカ)を接続します。

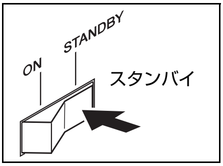


* INPUT 端子の形状に合ったプラグのケーブルをお使いください。

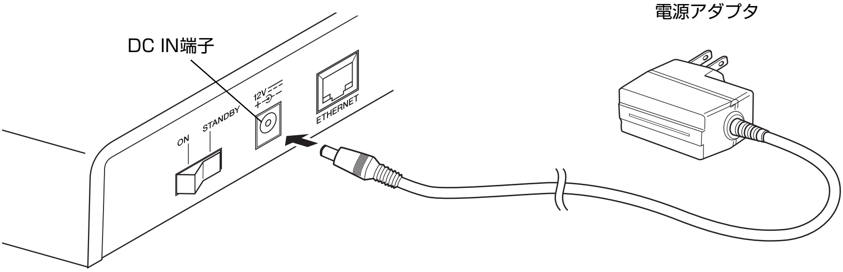
本商品の電源を入れるには

■ 電源の準備

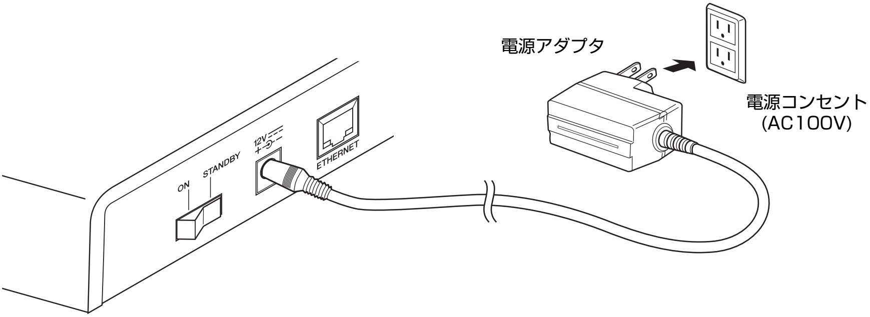
次の順番で、付属の電源アダプタを接続します。
電源アダプタを接続する前に、本体の ⏻ (スタンバイ/オンスイッチ)がスタンバイ(右図)になっていることを確認してください。



1 電源アダプタのプラグを本体のDC IN端子に接続します。



2 電源アダプタを電源コンセント(AC100V)に接続します。



お知らせ
- 電源アダプタを外すときは、逆の手順で行ってください。

⚠ **警告**
- **電源アダプタは、必ず付属のものをお使いください。他の電源アダプタを使用すると、発熱や感電の原因になります。**
- **付属の電源アダプタは100V用です。電源は必ずAC100Vを使用してください。**

⚠ **注意**
- **⏻ (スタンバイ/オン スイッチ)がスタンバイの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。**

■ 電源を入れる

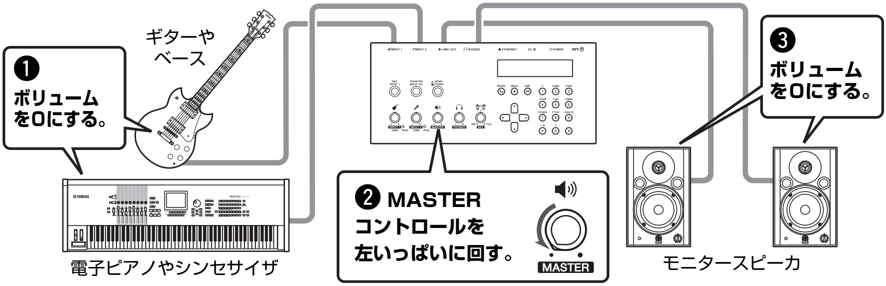
電源を入れる前に、本商品と楽器のモニタースピーカのボリュームを0にしてください。
モニタースピーカに接続しているときは、次の順番で電源をオン/オフしてください。

⚠ **注意**

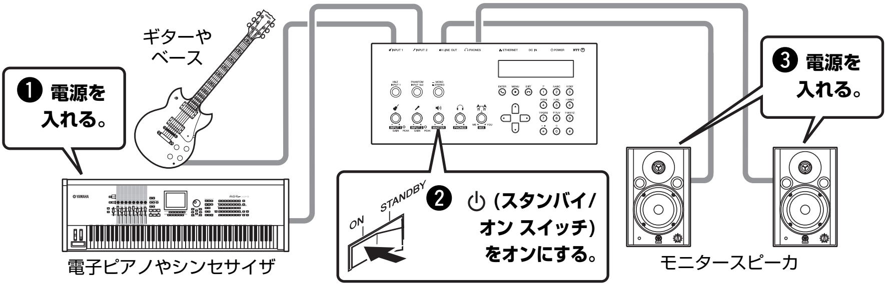
- **全ての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続してください。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にしてください。感電、聴力障がいまたは機器の損傷の原因になります。**
- **演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にしてください。聴力障がいまたは機器の損傷の原因になります。**
- **モニタースピーカの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にモニタースピーカの電源を入れてください。また、電源を切るときは、最初にモニタースピーカの電源を切ってください。**

● 電源を入れるとき

1 ボリュームを0にします。



2 楽器→本商品→モニタースピーカの順に電源を入れます。



2 ご利用の準備

本商品の電源を入れるには

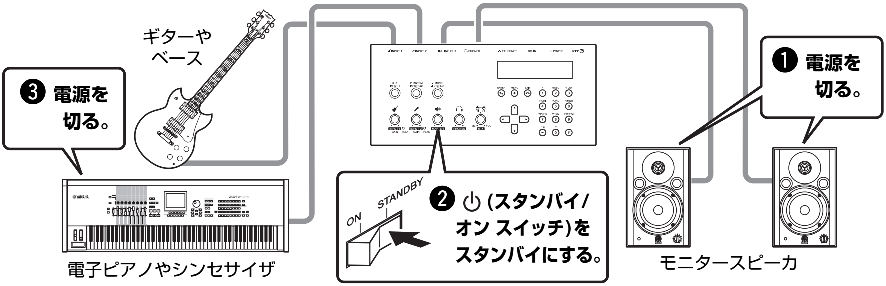
● 電源を切るとき

1 ボリュームを0にします。

「電源を入れるとき」の「ボリュームを0にします。」と同じ手順でボリュームを0にします。

2 モニタースピーカ→本商品→楽器の順に電源を切ります。

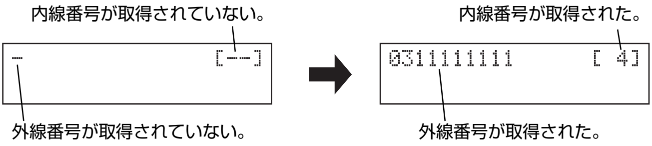
電源を入れるときと逆の順番で電源を切ります。



正しく接続されたかを確認するには

■ 本体とひかり電話対応ルータが正しく接続されたかを確認するには

本体の電源をオンにしたあと、本体のディスプレイに内線番号と外線番号が表示されれば、本体とひかり電話対応ルータは正しく接続されています。

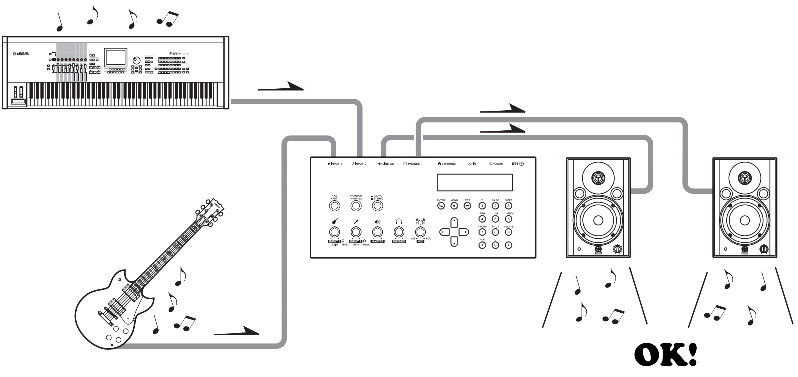


お知らせ
- 内線番号が取得できるまで10秒ほどかかることがあります。

お願い
- **番号が取得できない場合は『ひかり電話対応ルータと接続するには』(☞P17)をご覧いただき接続を確認し、もう一度本商品の電源を入れてください。**

■ 本体と楽器やモニタースピーカが正しく接続されたかを確認するには

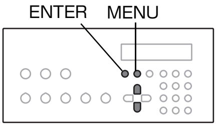
楽器、本体、モニタースピーカの電源をオンにしたあと、楽器の演奏音がモニタースピーカから聞こえたら、本体と楽器、モニタースピーカは正しく接続されています。



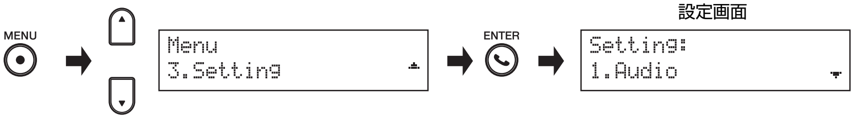
ネットワーク設定を行うには

■ IPアドレスを自動取得するには

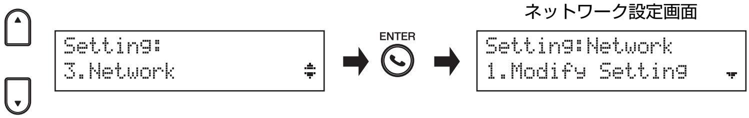
DHCPクライアント機能をONにし、アドレスを自動取得します。



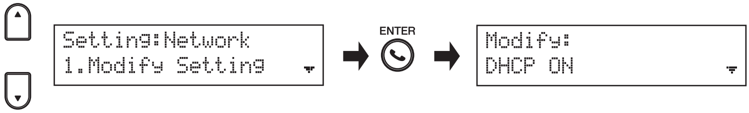
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



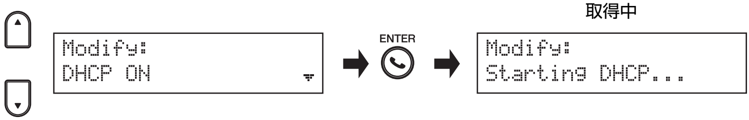
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「3.Network」を選択し、[ENTER]を押してネットワーク設定画面を開きます。



3 ネットワーク設定画面で[▲]/[▼]を押して「1.Modify Setting」を選択し、[ENTER]を押します。

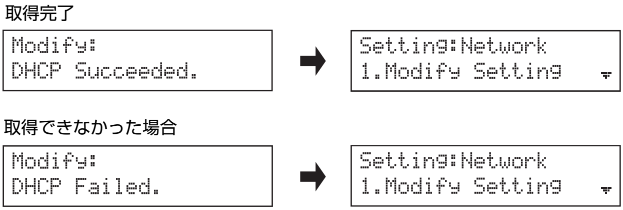


4 [▲]/[▼]で「DHCP ON」を選択し、[ENTER]を押します。



お知らせ
- お買い求め時は、「DHCP ON」に設定されています。

5 取得の結果がディスプレイに表示され、「1.Modify Setting」のメニュー画面に戻ります。

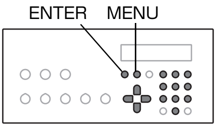


お願い
- **アドレスを取得できなかった場合は、本体とひかり電話対応ルータが正しく接続されたかを確認(☛P25)してください。**

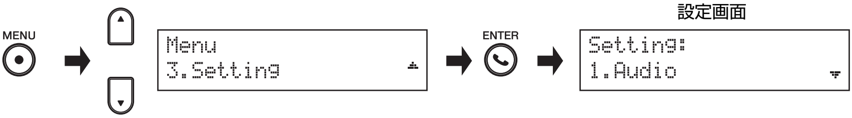
ワンポイント
- 以下のアドレスを自動取得するように設計されています。
  - ・IPv4アドレス
  - ・IPv6アドレス
  - ・デフォルトゲートウェイアドレス
  - ・DNSサーバーアドレス
  - ・サブネットマスク

■ IPアドレスを手動設定するには

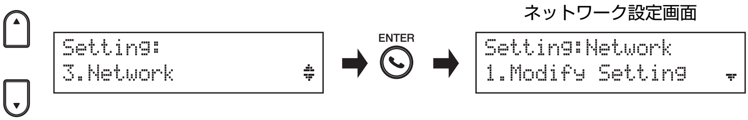
IPv4アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスを手動で設定します。



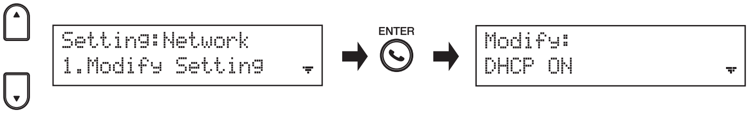
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



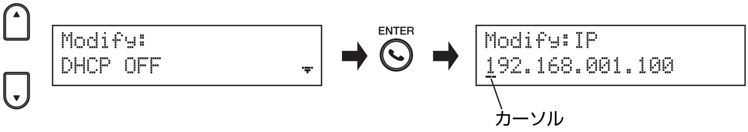
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「3.Network」を選択し、[ENTER]を押してネットワーク設定画面を開きます。



3 ネットワーク設定画面で[▲]/[▼]を押して「1.Modify Setting」を選択し、[ENTER]を押します。



4 [▲]/[▼]で「DHCP OFF」を選択し、[ENTER]を押します。



お知らせ

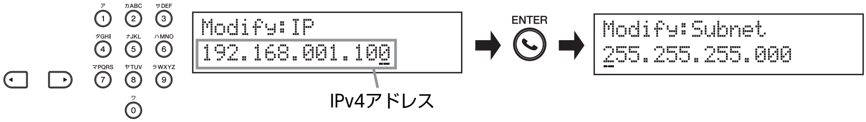
- お買い求め時は、「DHCP ON」に設定されています。
- IPv6アドレスは自動設定されます。

ネットワーク設定を行うには

5 **IPv4アドレスを数字ボタンを使い入力し、[ENTER]を押します。**

「.」で区切られたそれぞれの3桁は全て数字を入力します。たとえば、0.1.10.100であれば、000.001.010.100と入力します。

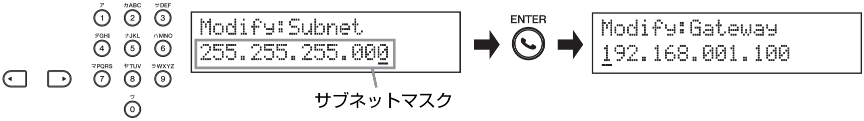
カーソルは[◀]/[▶]で移動します。



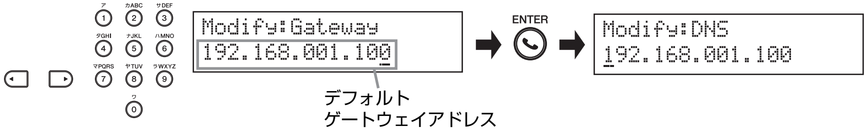
すでに数値が入力されているところで数字ボタンを押すと上書きされます。

3桁の値が255を超えると255に変更されます。

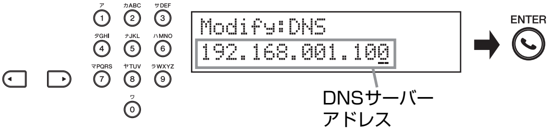
6 **サブネットマスクを数字ボタンを使い入力し、[ENTER]を押します。**



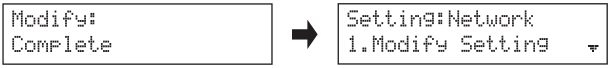
7 **デフォルトゲートウェイアドレスを数字ボタンを使い入力し、[ENTER]を押します。**



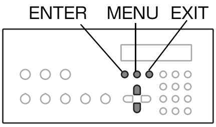
8 **DNSサーバーアドレスを数字ボタンを使い入力し、[ENTER]を押します。**



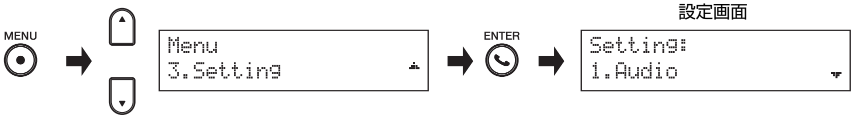
9 **「Complete」と表示されたら完了です。その後「1.Modify Setting」のメニュー画面に戻ります。**



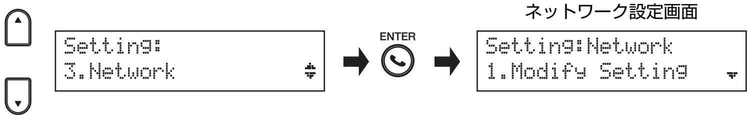
■ 現在設定値を確認するには



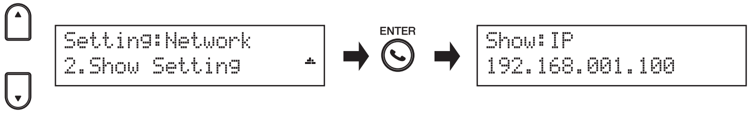
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「3.Network」を選択し、[ENTER]を押してネットワーク設定画面を開きます。

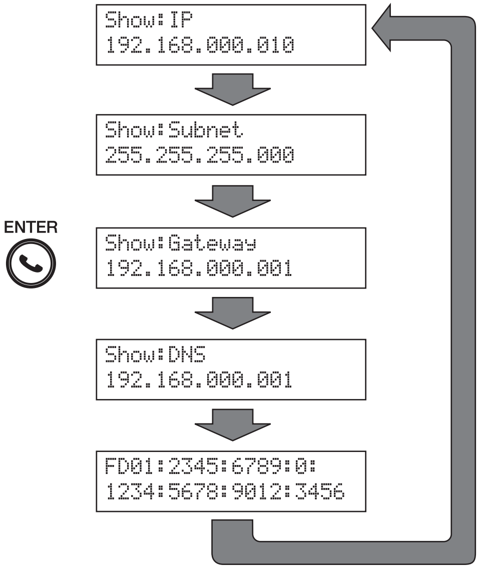


3 ネットワーク設定画面で[▲]/[▼]を押し、「2.Show Setting」を選択し、[ENTER]を押します。



ネットワーク設定を行うには

以降[ENTER]を押すたびに、確認のための表示が切り替わり、「IPv4アドレス」→「サブネットマスク」→「デフォルトゲートウェイアドレス」→「DNSサーバーアドレス」→「IPv6アドレス」→「IPv4アドレス」→・・と繰り返されます。

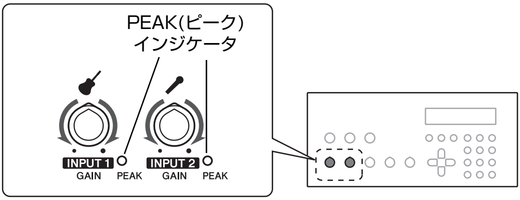


4 [EXIT]を押すことで「2.Show Setting」のメニュー画面に戻ります。

オーディオ設定を行うには(全通信モード共通)

■ 入力音のボリューム調節をするには

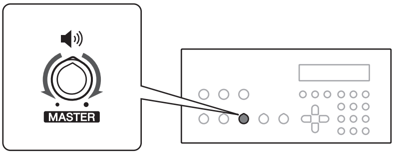
接続されている楽器で音を出しながら、INPUT 1/2 GAIN (インプット1/2ゲイン)コントロールを左右にまわして調節します。PEAK(ピーク)インジケータは、入力レベルが大きすぎると光って注意を促します。
演奏音が最も大きくなるときにPEAK(ピーク)インジケータが一瞬点灯する程度にGAIN(ゲイン)コントロールを左右にまわして調節します。



お知らせ • 入力音のボリューム調節はセッション中も可能です。

■ 出力音のボリューム調節をするには

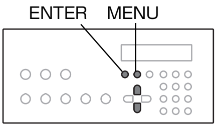
本商品に接続されている楽器、他拠点の出力音のボリュームをMASTER(マスター)コントロールを左右にまわして調節します。



お知らせ • 出力音のボリューム調節はセッション中も可能です。

オーディオ設定を行うには(ひかり電話モードでの設定)

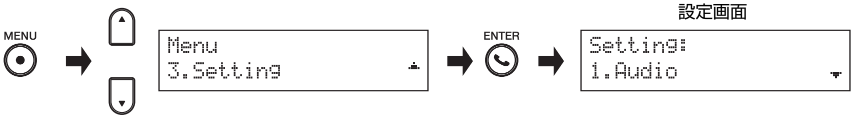
■ 着信音量を調節するには



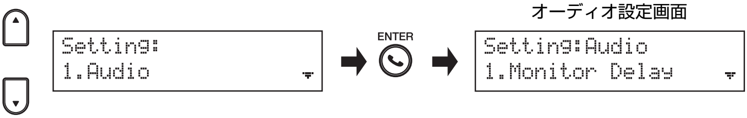
着信音、呼び出し中音、話中音を鳴らす本体スピーカの音量を調節します。

お知らせ
- 着信音量はセッション中も調節可能です。

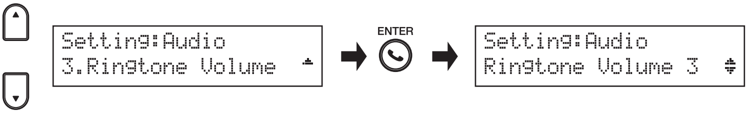
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



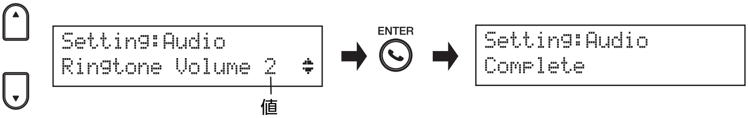
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「1.Audio」を選択し、[ENTER]を押してオーディオ設定画面を開きます。



3 オーディオ設定画面で[▲]/[▼]を押して「3.Ringtone Volume」を選択し、[ENTER]を押します。



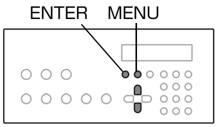
4 [▲]/[▼]で値を変更し、[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら完了です。



お知らせ
- お買い求め時は、着信音量は「3」に設定されています。
- 着信音量の値の範囲は0～5で、0は無音です。
- 電源を切っても設定した着信音量が保存されます。

オーディオ設定を行うには
(ひかり電話モード、フレッツ・v6オプションモードでの設定)

■ 自拠点の入力音の遅延を調節するには

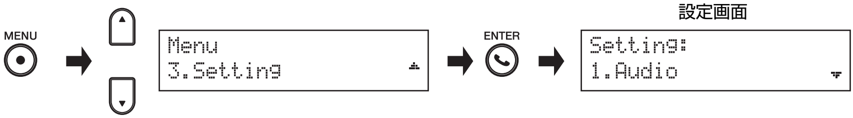


本体に接続されている楽器の音を遅延させ、他拠点との発音のずれを小さくします。ネットワークの遅延が大きい場合に、自身の楽器の音に遅延を加えると他拠点と合わせやすくなります。

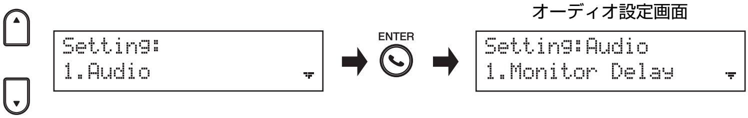
STOP お願い

- **遅延を加えることで演奏がしにくくなることがあります。その場合はOFFに設定してください。**

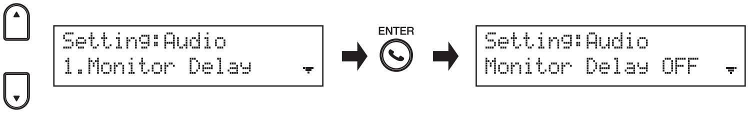
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



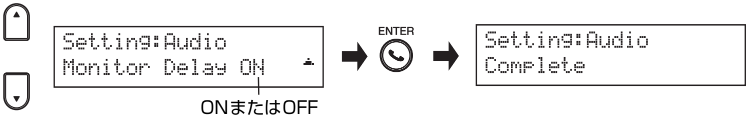
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「1.Audio」を選択し、[ENTER]を押してオーディオ設定画面を開きます。



3 オーディオ設定画面で[▲]/[▼]を押して「1.Monitor Delay」を選択し、[ENTER]を押します。



4 [▲]/[▼]で「ON」または「OFF」を選択し、[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら完了です。

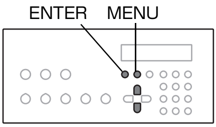


お知らせ

- お買い求め時は、モニター遅延は「OFF」に設定されています。
- 電源を切っても設定は保存されます。
- もっとも遅延が大きい拠点の遅延時間に合わせて、本体に接続されている楽器の音が遅延されるよう設計されています。
- 最大で20msec遅延させるように設計されています。
- 拠点ごとの遅延時間は、「遅延状況を確認するには」(☛P39)の「Dial:Member1 XX/YYms」の箇所に表示されます。
- IPv4インターネットモードの自拠点の遅延設定は「オプションモードでセッションをするには(IPv4インターネットモード)」の「自拠点の入力音の遅延を調節するには」(☛P68)をご覧ください。

オーディオ設定を行うには
(ひかり電話モード、フレッツ・v6オプションモードでの設定)

■ 他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズを調節するには

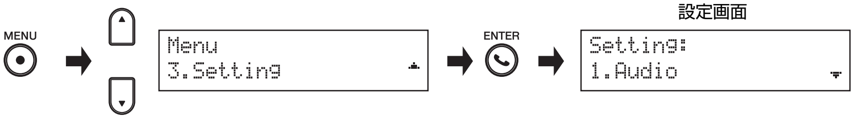


受信したデータが途切れ途切れに再生されてしまうことを防ぐために、本体内部のオーディオのバッファサイズを変更します。

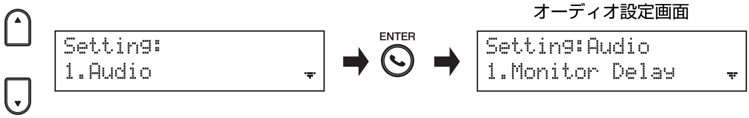
お願い

- **「接続」の受信バッファサイズ(☛P38)はネットワークから受信したデータのバッファサイズです。ここでの設定は、本体が内部で使用するバッファのサイズです。**
- **通常は初期値から変更する必要はありませんが、ネットワークの状況により受信したデータが途切れ途切れに再生されてしまう場合は、この値を大きい値に設定してください。**

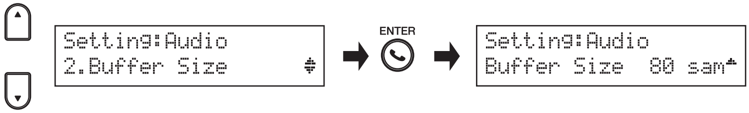
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



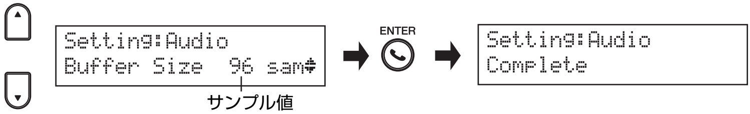
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「1.Audio」を選択し、[ENTER]を押してオーディオ設定画面を開きます。



3 オーディオ設定画面で[▲]/[▼]を押して「2.Buffer Size」を選択し、[ENTER]を押します。



4 [▲]/[▼]で「80」「96」「128」からサンプル値を選択し、[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら完了です。

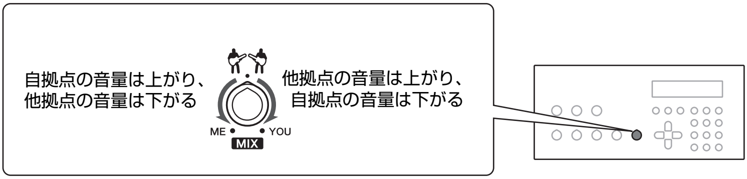


お知らせ

- 設定値は「80」,「96」,「128」の3種類です。
- お買い求め時は、サンプル値は「80」に設定されています。
- 電源を切っても設定は保存されます。
- IPv4インターネットモードでの他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズの調節は「オプションモードでセッションをするには」の「他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズを調節するには」(☛P68)をご覧ください。

■ 自拠点と他拠点の音量バランスを調節するには

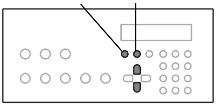
MIX(ミックス)コントロール(ME - YOU)で調節します。
左に回すと自拠点の音量が上がり、右に回すと他拠点の音量が上がります。



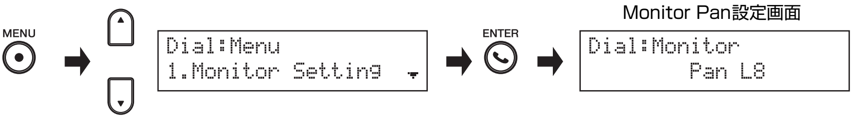
お知らせ

- 音量バランスの調節はセッション中だけ行えます。
- フレッツ･v6オプションモードの場合、複数の他拠点の入力音の音量はまとめて調節されます。
- IPv4インターネットモードでは、本体のMIXつまみは機能しません。音量バランスはブラウザ画面上で調節します(☛P64)。

■ 自拠点の入力音のパンポット(入力音の音像の定位)を調節するには



1 接続中に[MENU]を押し、[▲]/[▼]で「1.Monitor Setting」を選択し、[ENTER]を押してMonitor Pan設定画面を開きます。



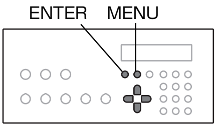
2 [▲]/[▼]を押して設定値を変更します。

お知らせ

- L8(左)～C(中央)～R8(右)の17 段階の設定が可能です。
- お買い求め時は、値は「C(中央)」に設定されています。
- 電源を切ると設定は「C(中央)」に戻ります。
- セッション中に設定を行った後、切断すると一旦「C(中央)」に戻ります。電源を切らずにもう一度接続すると、前回セッション中に設定した値に変更されます。

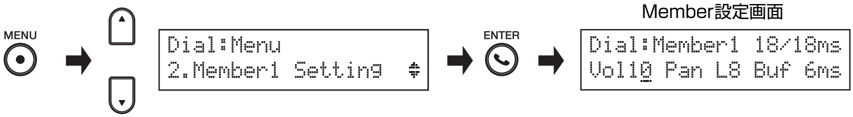
オーディオ設定を行うには
(ひかり電話モード、フレッツ・v6オプションモードでの設定)

■ 他拠点の入力音の音量を調節するには



1 接続中に[MENU]を押し、[▲]/[▼]でMember1 Setting～Member3 Settingのいずれかを選択し、[ENTER]を押してMember設定画面を開きます。

ひかり電話モードの場合は、Member1 Settingのみ有効となります。
フレッツ・v6オプションモードの場合は、接続中の拠点数に応じて選択可能となります。

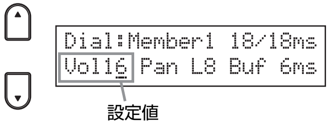


お知らせ

- フレッツ・v6オプションモードのセッションに参加した複数の他拠点は基本的には参加した順番にMember1～3に割り当てられます。途中でMember2が切断した場合、新しく別のメンバーが接続したときにはMember2に割り当てられます。

2 Member設定画面で[◀]/[▶]を押し、「Vol」の欄にカーソルを合わせます。

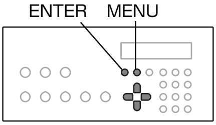
3 [▲]/[▼]を押して設定値を変更します。



お知らせ

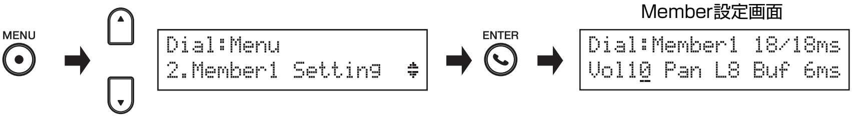
- 設定範囲は0(－90dB)～16(+8dB)です。
- お買い求め時の音量は「10(0dB)」に設定されています。
- 電源を切ると音量の設定は「10(0dB)」に戻ります。
- 他拠点の入力音の音量はセッション中だけ調節可能です。

■ 他拠点の入力音のパンポットを調節するには

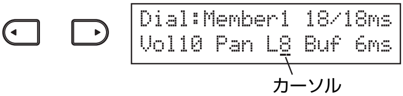


1 **接続中に[MENU]を押し、[▲]/[▼]でMember1 Setting～Member3 Settingのいずれかを選択し、[ENTER]を押してMember設定画面を開きます。**

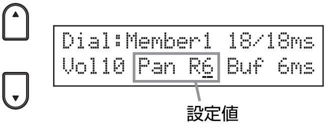
ひかり電話モードの場合は、Member1 Settingのみ有効となります。
フレッツ･v6オプションモードの場合は、接続中の拠点数に応じて選択可能となります。



2 **Member設定画面で[◀]/[▶]を押し、「Pan」の欄にカーソルを合わせます。**



3 **[▲]/[▼]を押して設定値を変更します。**



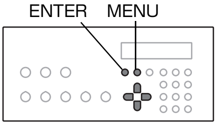
お知らせ

- L8(左)～C(中央)～R8(右)の17 段階の設定が可能です。
- お買い求め時は、値は「C(中央)」に設定されています。
- 電源を切ると設定は「C(中央)」に戻ります。
- 他拠点の入力音のパンポット(音像定位)はセッション中だけ調節可能です。

オーディオ設定を行うには
(ひかり電話モード、フレッツ·v6オプションモードでの設定)

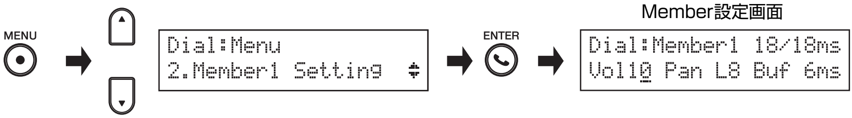
■ 他拠点の入力音の受信バッファサイズを調節するには

回線が混雑していると、受信したデータが途切れ途切れに再生されてしまう場合があります。このような場合に受信バッファサイズを大きくすることで改善することがあります。

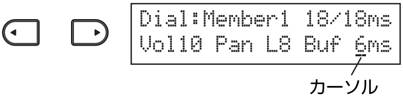


1 **接続中に[MENU]を押し、[▲]/[▼]でMember1 Setting～Member3 Settingのいずれかを選択し、[ENTER]を押してMember設定画面を開きます。**

ひかり電話モードの場合は、Member1 Settingのみ有効となります。
フレッツ·v6オプションモードの場合は、接続中の拠点数に応じて選択可能となります。



2 **Member設定画面で[◀]/[▶]を押し、「Buf」の欄にカーソルを合わせます。**



3 **[▲]/[▼]を押して設定値を変更します。**

お知らせ

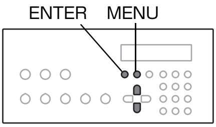
- 他拠点の入力音の受信バッファサイズはセッション中だけ調節可能です。初期値は、接続後にシステムにより自動的に決められます。
- 設定値の変更範囲は、接続モードと、自拠点、他拠点の『他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズを調節するには』(☛P34)の設定の関係により異なり、以下の表のようになります。

● 他拠点の入力音の受信バッファサイズ変更範囲表

	自拠点の「他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズ」の設定 [サンプル数]	80	80	80	96	96	96	128	128	128
	他拠点の「他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズ」の設定 [サンプル数]	80	96	128	80	96	128	80	96	128
ひかり電話モード	自拠点で変更できる「他拠点の入力音の受信バッファサイズ」の範囲 [ms]	3～6	3～6	3～9	3～6	3～6	3～9	3～9	3～9	3～9
フレッツ·v6オプションモード/IPv4インターネットモード	自拠点で変更できる「他拠点の入力音の受信バッファサイズ」の範囲 [ms]	3～6	3～9	3～9	3～6	3～9	3～9	3～9	3～9	3～9

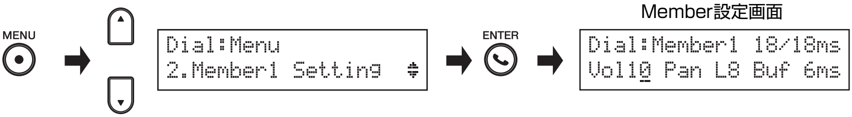
■ 遅延状況を確認するには

接続中に自拠点から他拠点までの伝達遅延と、他拠点から自拠点までの伝達遅延をそれぞれ確認可能です。



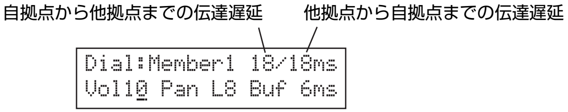
1 **接続中に[MENU]を押し、[▲]/[▼]でMember1 Setting〜Member3 Settingのいずれかを選択し、[ENTER]を押してMember設定画面を開きます。**

ひかり電話モードの場合は、Member1 Settingのみ有効となります。
フレッツ・v6オプションモードの場合は、接続中の拠点数に応じて選択可能となります。



2 **画面上段に「Dial:Member1 XX/YYms」と表示されます。**

XXに相当する部分が自拠点から他拠点までの伝達遅延です。
YYに相当する部分が他拠点から自拠点までの伝達遅延です。



お知らせ

- **遅延状況はセッション中だけ確認可能です。**

オーディオ設定を行うには (IPv4インターネットモードでの設定)

■ IPv4インターネットモードのオーディオ設定を行うには

「4. 本商品の使いかた」の「オプションモードでセッションをするには(IPv4インターネットモード)」(☛P56)をご覧ください。

電話帳設定を行うには

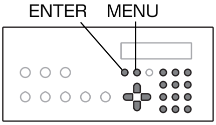
■ 電話帳に登録するには (ひかり電話の電話番号、フレッツ・v6オプションモードで利用する部屋番号)

他拠点の電話番号やフレッツ・v6オプションで利用する部屋番号を本体内蔵の電話帳に登録可能です。電話帳を使えば電話番号や部屋番号を毎回入力することなく簡単に接続可能です。
登録はグループを指定して分類が可能です。グループは、「Favorite」「Group1」「Group2」「Group3」「Group4」の5つが用意されています。電話帳には最大200件登録可能です。

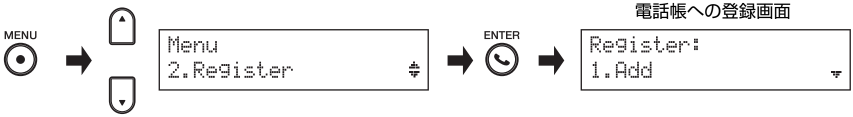
お知らせ • 接続中には登録を行えません。

ワンポイント • 電話帳のショートカット機能(☛P50, 54)を使う場合、「Favorite」が最初に表示されるので、よく使う番号は「Favorite」に登録しておくと見つけやすいです。

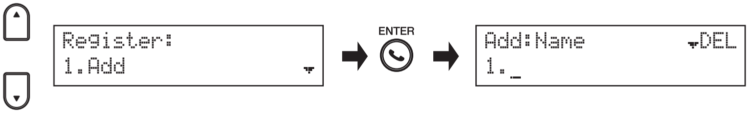
■ 電話帳に新規登録する



1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「2.Register」を選択し、[ENTER]を押して電話帳への登録画面を開きます。

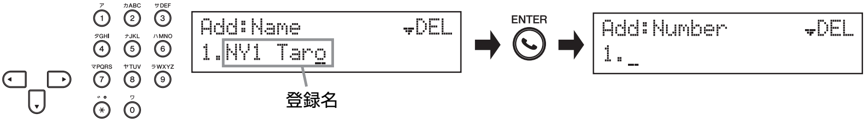


2 [▲]/[▼]で「1.Add」を選択し、[ENTER]を押します。



これにより自動的に空いているエントリが選ばれ、登録名を入力できる状態になります。
登録数が上限の場合は「MAX ENTRY」が表示され、Registerメニュー画面に戻ります。

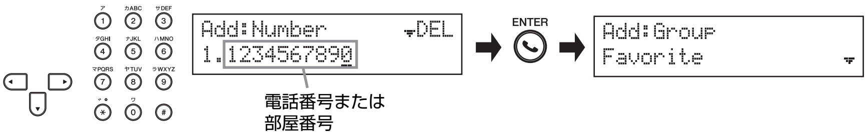
3 「Add:Name」に登録名を入力し、[ENTER]を押します。
文字入力の方法は、『文字入力について』(☛P78)をご覧ください。



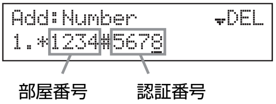
電話帳設定を行うには

4 「Add:Number」に電話番号または部屋番号を入力し、[ENTER]を押します。

番号入力の方法は、『文字入力について』(☛P78)をご覧ください。

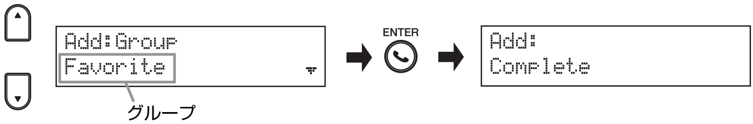


ワンポイント • 以下のように部屋番号と一緒に認証番号も登録が可能です。

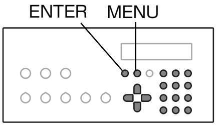


5 「Add:Group」に[▲]/[▼]で登録するグループを選択し、[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら登録完了です。

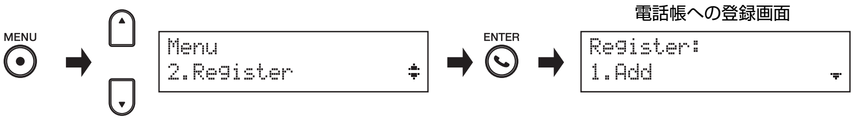
ワンポイント • 電話帳のショートカット機能(☛P50, 54)を使う場合、「Favorite」が最初に表示されるので、よく使う番号は「Favorite」に登録しておくと見つけやすいです。



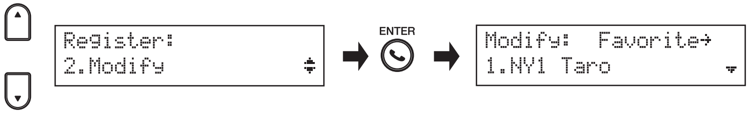
■ 電話帳の登録を変更するには



1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「2.Register」を選択し、[ENTER]を押して電話帳への登録画面を開きます。

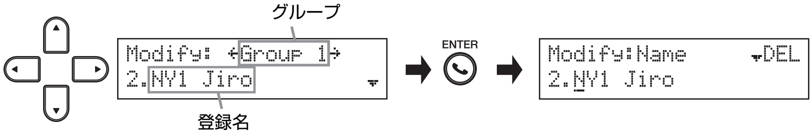


2 [▲]/[▼]で「2.Modify」を選択し、[ENTER]を押します。



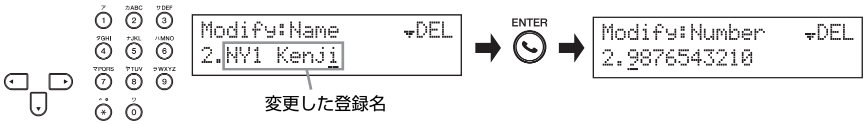
1件も登録がない場合は、ディスプレイに「NO ENTRY」が表示され、Registerメニュー画面に戻ります。

3 [◀]/[▶]でグループを選択し、[▲]/[▼]で変更を行う登録名を選択し、[ENTER]を押します。



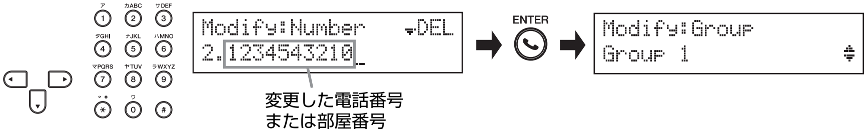
4 登録名が表示されたら、変更する文字を入力し、[ENTER]を押します。

文字入力の方法は、『文字入力について』(☛P78)をご覧ください。

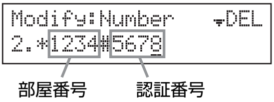


5 登録されている電話番号または部屋番号が表示されたら、変更を入力し、[ENTER]を押します。

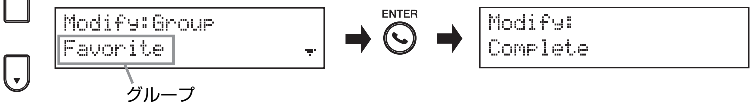
番号入力の方法は、『文字入力について』(☛P78)をご覧ください。



ワンポイント • 以下のように部屋番号と一緒に認証番号も登録が可能です。



6 登録するグループを変更する場合は[▲]/[▼]で変更し、[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら変更完了です。

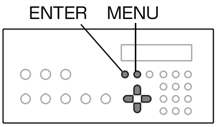


お知らせ • グループ名は変更できません。

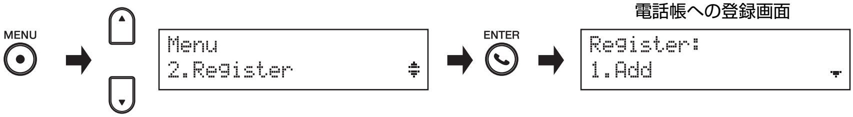
3 本商品の設定のしかた

電話帳設定を行うには

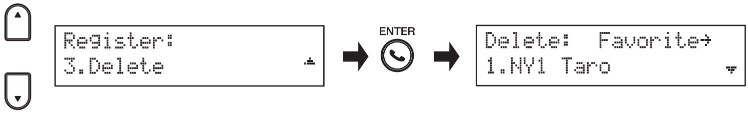
■ 電話帳の登録を削除するには



1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「2.Register」を選択し、[ENTER]を押して電話帳への登録画面を開きます。

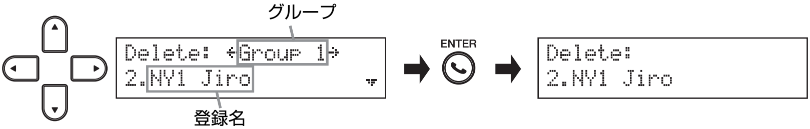


2 [▲]/[▼]で「3.Delete」を選択し、[ENTER]を押します。

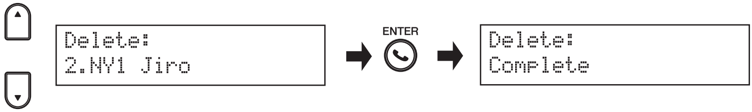


1件も登録がない場合は、ディスプレイに「NO ENTRY」が表示され、Registerメニュー画面に戻ります。

3 [◀]/[▶]でグループを選択し、[▲]/[▼]で不要な登録名を選択し、[ENTER]を押します。



4 登録名を確認し、間違いがなければもう一度[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら削除完了です。登録名、登録名とともに登録されている電話番号、部屋番号は削除されます。



ナンバー・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイとは、電話をかけてきた相手の電話番号がディスプレイに表示されるサービスです。
このサービスを利用するには、あらかじめ当社とご契約(有料)いただく必要があります。
ナンバー・ディスプレイについて詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
ナンバー・ディスプレイをご契約になると、以下の便利な機能がご利用になれます。

■ 電話をかけてきた相手の名称を電話に出る前に確認

ナンバー・ディスプレイを利用すると、電話をかけてきた相手の情報がディスプレイに表示されるので、相手を確認してから電話に出ることが可能です。

■ ナンバー・ディスプレイの表示

電話帳に登録されている電話番号の着信があったとき	名称 Incoming:NY1 Taro 1234567890	電話帳に登録されている名称が表示されます。 電話番号の先頭に184、186を付けて登録した場合や先頭が00の電話番号を登録した場合は、電話帳に登録されている名称は表示されません。
電話帳に登録されていない電話番号の着信があったとき	番号 Incoming:1234567890 1234567890	電話番号が表示されます。
電話番号を通知しない契約や設定での着信があったとき	ヒツウチ Incoming:ﾋﾂｳﾁ ﾋﾂｳﾁ	「ヒツウチ」と表示されます。

お知らせ
- **本機能はひかり電話モードで着信があった場合にのみ有効です。**

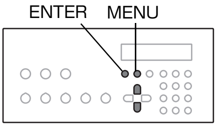
パワーマネジメント設定を行うには

一定時間、ボタンの操作、着信、ブラウザからのログイン操作がないと、自動でディスプレイのバックライトを消し、オーディオ入出力機能の電源を切る省電力の状態(ローパワーモード)になります。ディスプレイのバックライトが消えるまでの時間設定やローパワーモードになるまでの時間設定は、パワーマネジメント設定として変更可能です。

お知らせ

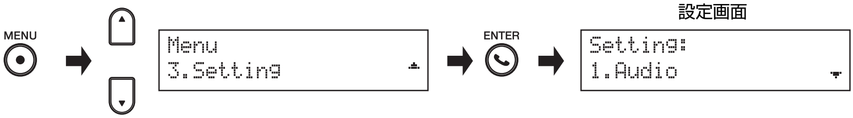
- 着信、ボタンの操作、ブラウザからのログイン操作があると省電力の状態は解除されます。

■ ディスプレイのバックライトを消すまでの時間を設定するには

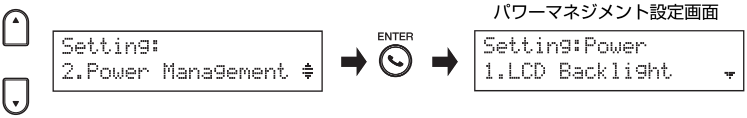


一定時間ボタン操作、着信、ブラウザからのログイン操作がないときに、ディスプレイのバックライトを消すまでの時間を設定します。

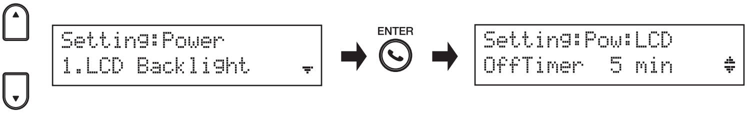
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



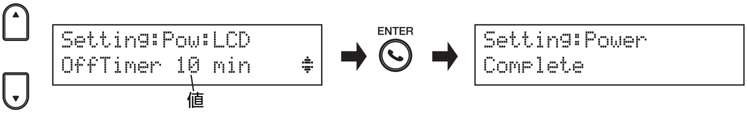
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「2.Power Management」を選択し、[ENTER]を押してパワーマネジメント設定画面を開きます。



3 パワーマネジメント設定画面で[▲]/[▼]を押して「1.LCD Backlight」を選択し、[ENTER]を押します。



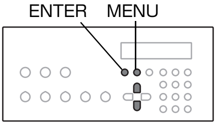
4 [▲]/[▼]で値を選択し、[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら設定完了です。



お知らせ

- 値は0分、1分、5分、10分、30分から選択可能です。
- 0分を選択した場合はディスプレイのバックライトは消えません。
- お買い求め時は、値は「5分」に設定されています。
- 電源を切っても設定は保存されます。

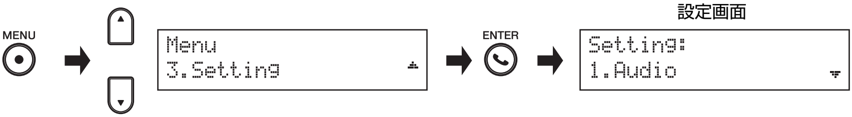
■ ローパワーモードに入るまでの時間を設定するには



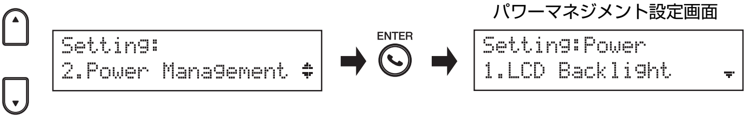
一定時間ボタンの操作、着信、ブラウザからのログイン操作がないときに、ローパワーモードに入るまでの時間を設定します。

お知らせ
- ローパワーモードとは、以下の状態を指します。
  ・ディスプレイのバックライト オフ
  ・オーディオ入出力機能の電源 オフ

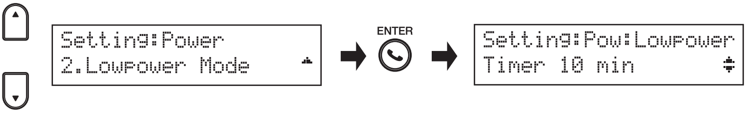
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



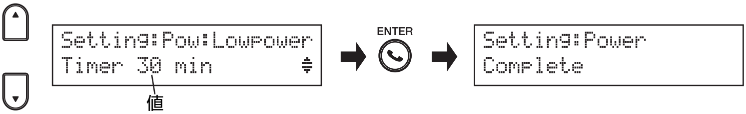
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「2.Power Management」を選択し、[ENTER]を押してパワーマネジメント設定画面を開きます。



3 パワーマネジメント設定画面で[▲]/[▼]を押して「2. Lowpower Mode」を選択し、[ENTER]を押します。



4 [▲]/[▼]で値を選択し、[ENTER]を押します。「Complete」と表示されたら完了です。



お知らせ
- ディスプレイのバックライトがオフに入るまでの時間設定のほうがローパワーモードに入るまでの時間より長い場合は、ローパワーモードの設定が優先し、ディスプレイのバックライトはオフとなります
- 値は0分、1分、5分、10分、30分から選択可能です。
- 0分を選択した場合はローパワーモードになりません。
- お買い求め時は、値は「10分」に設定されています。
- 電源を切っても設定は保存されます。

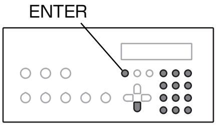
ひかり電話モードでセッションをするには

フレッツ 光ネクスト(ひかり電話)回線を利用し、遠隔地にいる人同士で音楽セッションが可能です。フレッツ 光ネクスト(ひかり電話)回線契約時に割り当てられた電話番号を利用し、接続を行います。

お知らせ
- 本接続モードはフレッツ 光ライトのひかり電話サービスに加入されている場合もご利用いただけます。
- 本接続モードで接続できる他拠点は1拠点です。

お願い
- **ひかり電話モードでセッションをする場合、通信を行う相手方にも本商品を接続してください。本モードでは、本商品以外の音声端末との接続ではご利用できません。**
- **本商品は110番、118番、119番等へ発信しても通話できません。110番、118番、119番等への発信は他の電話機をご利用ください。**

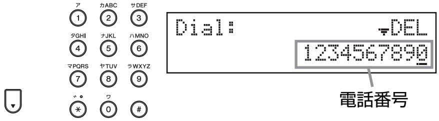
■ 電話番号を入力してセッションを開始するには(発信)



1 **トップ画面で数字ボタンを押し、電話番号を入力します。**

入力した数字がディスプレイに表示されます。

訂正する場合は、[▼]を押すことで直前の1文字を削除します。



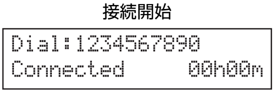
お知らせ • 番号は最大16桁まで入力可能です。17桁以上は無効になります。

ワンポイント • [MENU]ボタンを押して[EXIT]ボタンを押すとトップ画面が表示されます。

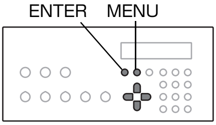
2 **電話番号を確認し、間違いがなければ[ENTER]を押します。**

相手を呼び出している画面「Calling」と電話番号が表示され、呼び出し中となり、発信音が鳴ります。

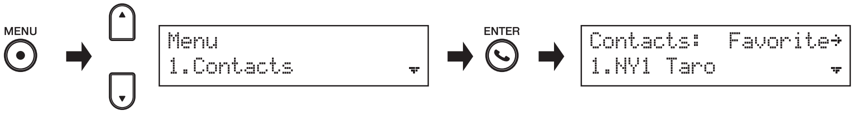
3 **相手が応答すると、発信音が停止し「Connected」と表示され、相手との接続が開始されます。**



■ 電話帳を使ってセッションを開始するには(発信)



1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「1.Contacts」を選択し、[ENTER]を押します。



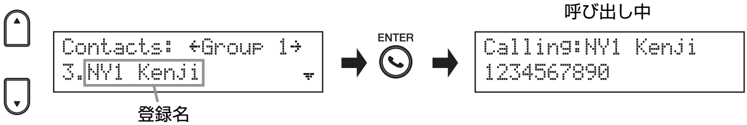
電話帳に登録がない場合は、ディスプレイに「NO ENTRY」が表示され、「1.Contacts」のメニュー画面に戻ります。

2 [◀]/[▶]を押して登録グループを選択します。

ワンポイント
- グループには「Favorite」、「Group1」〜「Group4」、全てのグループの登録名が表示される「All」があります。

3 [▲]/[▼]を押して、選択したグループ内の登録名を選択し、[ENTER]を押します。

相手を呼び出している画面「Calling」と電話番号が表示され、呼び出し中となり、発信音が鳴ります。

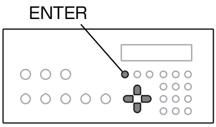


お知らせ
- 選択した登録名の電話番号が、フレッツ･v6オプションモード用の番号(「＊」から始まる4桁の番号)だった場合には、フレッツ･v6オプションモードとなります。

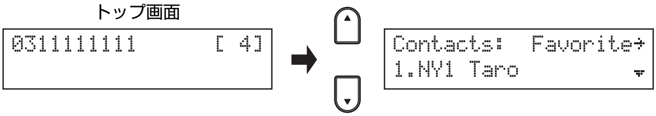
4 相手が応答すると、発信音が停止し「Connected」と表示され、相手との接続が開始されます。

ひかり電話モードでセッションをするには

■ 電話帳のショートカット機能を使ってセッションを開始するには(発信)



1 トップ画面で[▲]/[▼]を押し、「Favorite」グループの登録名画面を開きます。



1件も登録されていない場合は、ディスプレイに「NO ENTRY」が表示され、トップ画面に戻ります。

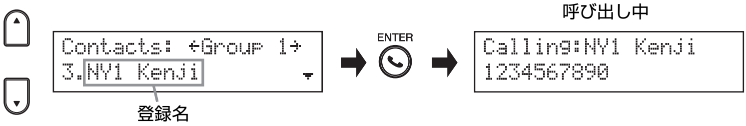
2 [◀]/[▶]を押して登録グループを選択します。

お知らせ

- 初期状態では「Favorite」が選択された状態で、「Favorite」→「Group1」→「Group2」→「Group3」→「Group4」→「All」の順番で変化します。(「All」から[▶]を押しても「Favorite」へは変化しません。また、「Favorite」から[◀]を押しても「All」へは変化しません。)

3 [▲]/[▼]を押して、選択したグループ内の登録名を選択し、[ENTER]を押します。

相手を呼び出している画面「Calling」と電話番号が表示され、呼び出し中となり、発信音が鳴ります。

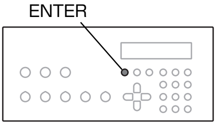


お知らせ

- 選択した登録名の電話番号が、フレッツ・v6オプションモード用の番号(「＊」から始まる4桁の番号)だった場合には、フレッツ・v6オプションモードとなります。

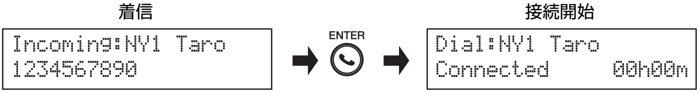
4 相手が応答すると、発信音が停止し「Connected」と表示され、相手との接続が開始されます。

■ 着信に応答してセッションを開始するには(着信)

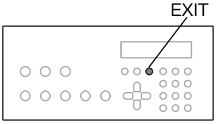


相手から着信した場合、本体スピーカから着信音が鳴り、ディスプレイに相手の電話番号と、電話帳に登録されている電話番号の場合は登録名が表示されます。
相手が発信番号非通知の設定を行っていた場合は、番号の代わりに「ヒツウチ」と表示されます。

着信中に[ENTER]を押すと着信に応答し、接続が確立します。

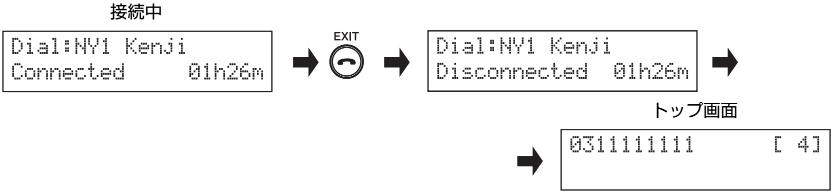


■ セッションを切断するには



接続中に[EXIT]を押します。

「Disconnected」と表示され、相手との接続が切断された後、トップ画面に戻ります。



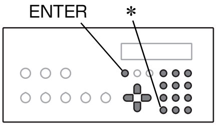
オプションモードでセッションをするには (フレッツ･v6オプションモード)

「フレッツ･v6オプション」サービスを利用し、遠隔地にいる最大3つの他拠点と、音楽セッションが可能です。フレッツ･v6オプションモードの場合は、着信の応答ではなく、接続する各拠点が部屋番号と認証番号(いずれも4桁)で発信し、接続します。

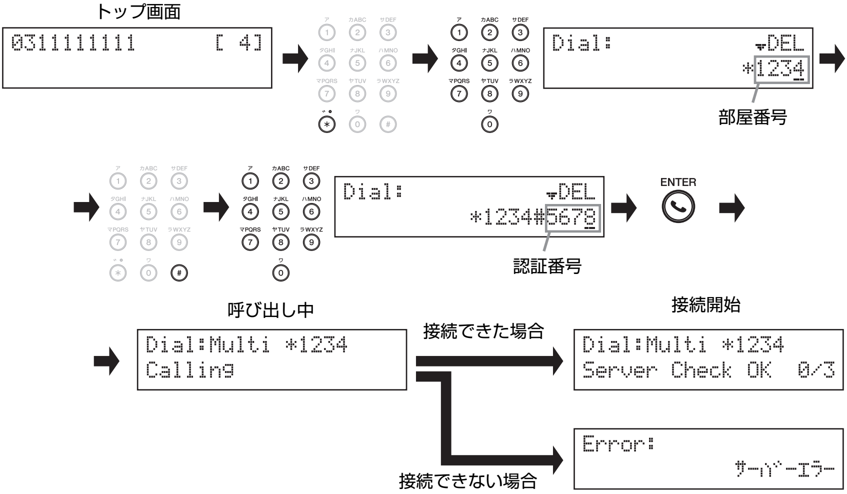
ワンポイント
- 部屋番号と認証番号(いずれも4桁)は、あらかじめ接続を予定している拠点間で合わせる必要があります。

お願い
- 「フレッツ･v6オプション」サービスへの加入が必要です。
- フレッツ･v6オプションモードはフレッツ 光ライトをご契約されている場合、ご利用できません。フレッツ 光ネクストをご利用ください。
- 接続可能な拠点のエリアはフレッツ･v6オプションサービスの提供エリアに依存します。
- 本接続モードは、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。
- フレッツ･v6オプションモードでセッションをする場合、通信を行う相手方にも本商品を接続してください。本モードでは、本商品以外の音声端末との接続ではご利用できません。
- 本商品は110番、118番、119番等へ発信しても通話できません。
110番、118番、119番等への発信は他の電話機をご利用ください。

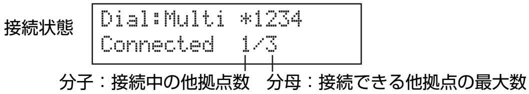
■ 部屋番号を入力してセッションを開始するには



1 最初の拠点(自拠点)が接続します。トップ画面で[＊]を押し、その後数字ボタンで4桁の数(部屋番号)を入力し、続けて[#]ボタンを押し、その後数字ボタンで、別の4桁の番号(認証番号)を入力し、[ENTER]を押します。
接続ができると「Server Check OK」と表示されます。接続ができない場合は「サーバーエラー」と表示されます。



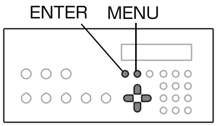
2 他拠点が、手順1で最初の拠点が入力した番号と同じ番号を入力して接続します。他拠点が接続状態になると、現在接続中の拠点の数が表示されます。
新しい拠点が接続してきた場合は画面の拠点の数が変化し、音声通信が開始されます。



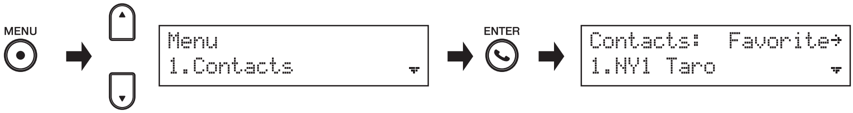
お知らせ

- 最初に接続する拠点が認証番号を指定します。それ以降の拠点は、最初に指定された認証番号と一致しなければエラーとなり切断されます。
- 接続中の拠点が全て切断するとサーバーに登録した認証番号はリセットされます。
- 最初に接続した拠点が認証番号を入力せず、部屋番号だけで接続した場合は、以降の他拠点も部屋番号だけで接続されます。
- 4他拠点目以降はエラーとなり接続できません。

■ 電話帳を使ってセッションを開始するには



1 最初の拠点(自拠点)が接続します。[MENU]を押し、[▲]/[▼]で「1.Contacts」を選択し、[ETNER]を押します。



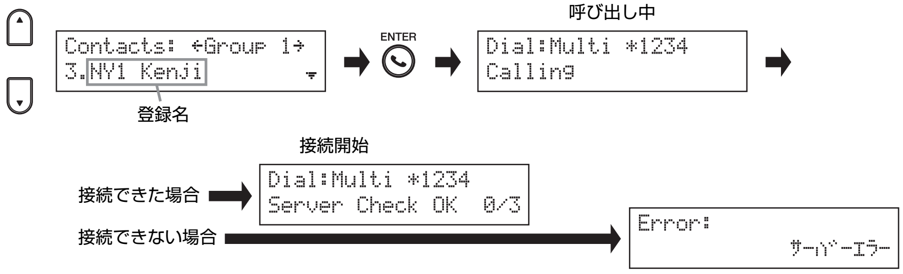
電話帳に登録がない場合は、ディスプレイに「NO ENTRY」が表示され、「1.Contacts」のメニュー画面に戻ります。

2 [◀]/[▶]を押して登録グループを選択します。

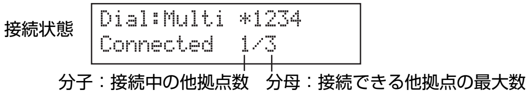
3 [▲]/[▼]を押して、選択したグループ内の登録名を選択し、[ENTER]を押します。
接続ができると「Server Check OK」と表示されます。接続ができない場合は「サーバーエラー」と表示されます。

部屋番号を登録した登録名を選んでください。選んだ登録名の電話番号がひかり電話モード用の番号(数字ではじまる電話番号)だった場合には、ひかり電話モードになります。

オプションモードでセッションをするには
(フレッツ・v6オプションモード)



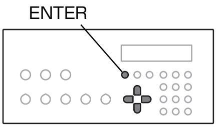
4 他拠点が、手順1～3で最初の拠点が入力した番号と同じ番号を入力して接続します。他拠点が接続状態になり、現在接続中の拠点の数がディスプレイに表示されます。



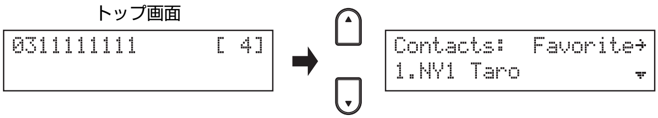
お知らせ

- 最初に接続する拠点が認証番号を指定します。それ以降の拠点は、最初に指定された認証番号と一致しなければエラーとなり切断されます。
- 接続中の拠点が全て切断すると認証番号はリセットされます。
- 最初に接続した拠点が認証番号を入力せず、部屋番号だけで接続した場合は、以降の他拠点も部屋番号だけで接続されます。
- 4他拠点目以降はエラーとなり接続できません。

■ 電話帳のショートカット機能を使ってセッションを開始するには



1 最初の拠点(自拠点)が接続します。トップ画面で[▲]/[▼]を押し、「Favorite」グループの登録名画面を開きます。

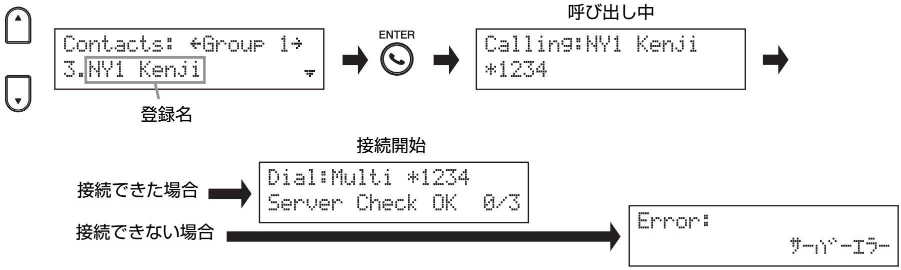


2 [◀]/[▶]を押して登録グループを選択します。

お知らせ

- 初期状態では「Favorite」が選択された状態で、「Favorite」→「Group1」→「Group2」→「Group3」→「Group4」→「All」の順番で変化します。(「All」から[▶]を押しても「Favorite」へは変化しません。また、「Favorite」から[◀]を押しても「All」へは変化しません。)

3 [▲]/[▼]を押して、選択したグループ内の登録名を選択し、[ENTER]を押します。
接続ができると「Server Check OK」と表示されます。接続ができない場合は「サーバーエラー」と表示されます。

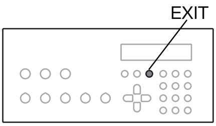


4 他拠点が、手順1～3で最初の拠点が入力した番号と同じ番号を入力して接続します。他拠点が接続状態になり、現在接続中の拠点の数がディスプレイに表示されます。

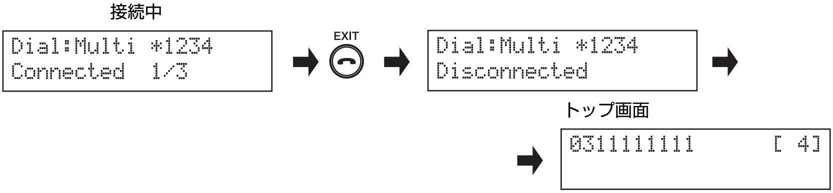
お知らせ

- 選択した登録名の電話番号が、ひかり電話モード用の番号(数字ではじまる電話番号)だった場合には、ひかり電話モードとなります。
- 最初に接続する拠点が認証番号を指定します。それ以降の拠点は、最初に指定された認証番号と一致しなければエラーとなり切断されます。
- 接続中の拠点が全て切断すると認証番号はリセットされます。
- 最初に接続した拠点が認証番号を入力せず、部屋番号だけで接続した場合は、以降の他拠点も部屋番号だけで接続されます。
- 4他拠点目以降はエラーとなり接続できません。

■ セッションを切断するには



接続中に[EXIT]を押します。
「Disconnected」と表示され、相手との接続が切断された後、トップ画面に戻ります。



4 本商品の使いかた

オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

インターネットを利用し、遠隔地にいる最大3つの他拠点と音楽セッションが可能です。IPv4インターネットモードの接続の場合は、着信の応答ではなく、接続する各拠点がパソコン操作によるWEBブラウザからのルーム名、パスワード入力で発信し接続します。また、NETDUETTO βとの音楽セッションが可能です。

お知らせ

- NETUDUETO βについては以下のURLをご覧ください。
  http://www.y2lab.com/project/netduetto/
- IPv4インターネットは連続セッション時間は6時間です。

お願い

- **IPv4インターネットモードでセッションをする場合、通信を行う相手方には本商品かNETDUETTO βを接続してください。**
  本モードでは、本商品とNETDUETTO β以外の音声端末との接続ではご利用できません。
- **本商品は110番、118番、119番等へ発信しても通話できません。**
  110番、118番、119番等への発信は他の電話機をご利用下さい。
- **本接続モードは、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。**
- **ブラウザからの接続・設定等の操作を行う場合、2つ以上同時に本体にログインした状態にしないでください。**

■ パソコンから本体を検出するには

● Windows XPでの検出

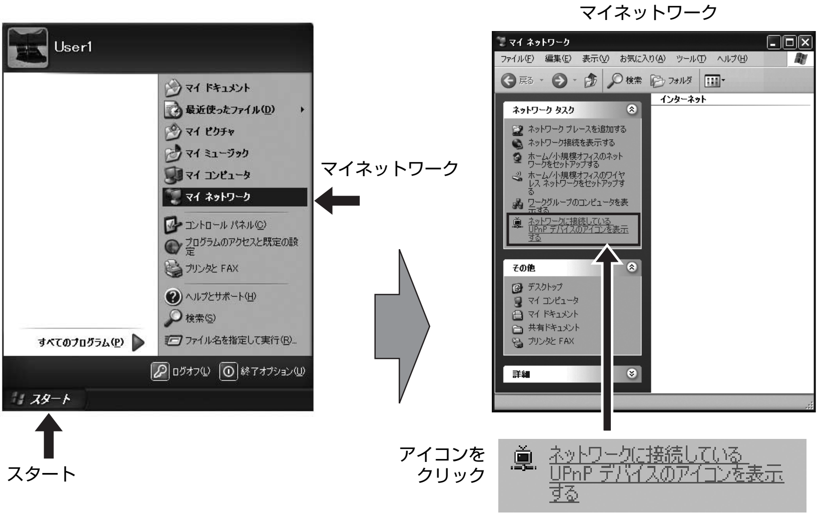
Windows XPのパソコン上から、同一ネットワーク上の本体を見つけ、接続します。

1 Windows XPのパソコンで「スタート」→「マイネットワーク」を開きます。

お知らせ

- お使いのパソコンの設定によっては、スタートメニューに「マイネットワーク」が表示されない場合があります。詳細はOSの開発元にお問い合わせください。

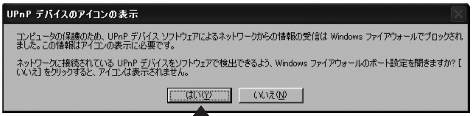
2 [ネットワーク タスク] の [ネットワークに接続している UPnP デバイスのアイコンを表示する] をクリックします。



お知らせ

- UPnPデバイスがインストールされている場合は、[ネットワークに接続している UPnP デバイスのアイコンを表示する]は表示されません。この場合手順2(本手順)と手順3の操作は不要です。

3 UPnPのコンポーネントのインストール確認がでるので、[はい]をクリックしインストールします。



[はい]

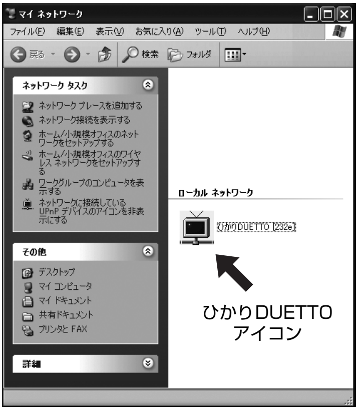
4 インストール後、「ローカルネットワーク」に「ひかりDUETTO」が表示されます。

お知らせ

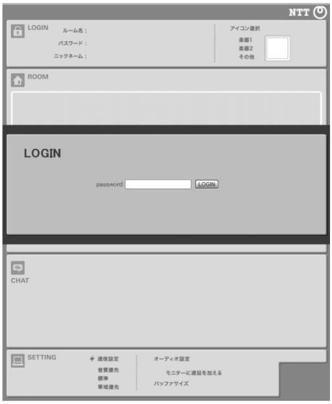
- 「ひかりDUETTO」の後ろには本商品のMACアドレスの下4桁が表示されます。
- 表示されない場合はF5キーを押すことで表示されることがあります。また、本商品の起動直後などはすぐに表示されないことがあります。この場合はしばらく経ってから再度お試しください。

5 「ひかりDUETTO」のアイコンをダブルクリックすることでブラウザが開き、IPv4インターネットモード用のログイン画面が表示されます。

ローカルネットワーク



ログイン画面



オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

● Windows Vista/7での検出

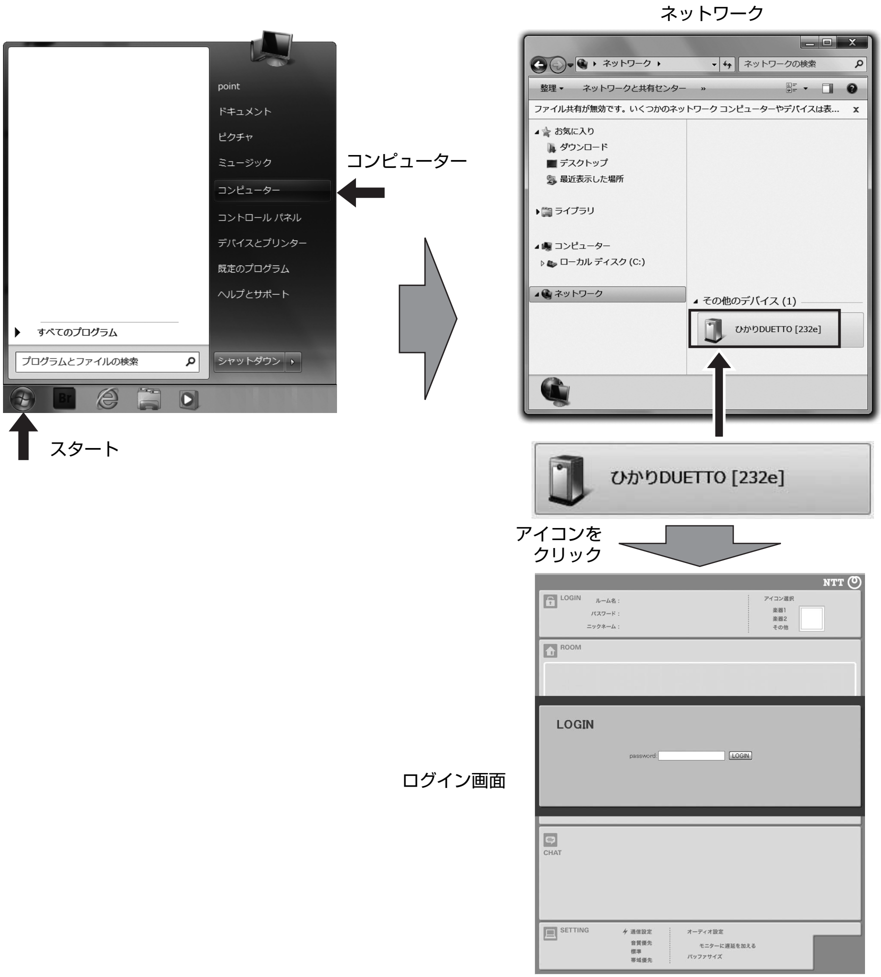
Windows Vista/7のパソコン上から、同一ネットワーク上の本体を見つけ、接続します。

1 Windows Vista/7のパソコンで「スタート」→「コンピューター」→「ネットワーク」を開きます。

2 「その他のデバイス」に「ひかりDUETTO」が表示されます。

お知らせ
- 「ひかりDUETTO」の後ろには本商品のMACアドレスの下4桁が表示されます。
- 表示されない場合はF5キーを押すことで表示されることがあります。また、本商品の起動直後などはすぐに表示されないことがあります。この場合はしばらく経ってから再度お試しください。

3 「ひかりDUETTO」のアイコンをダブルクリックすることでブラウザが開き、IPv4インターネットモード用のログイン画面が表示されます。



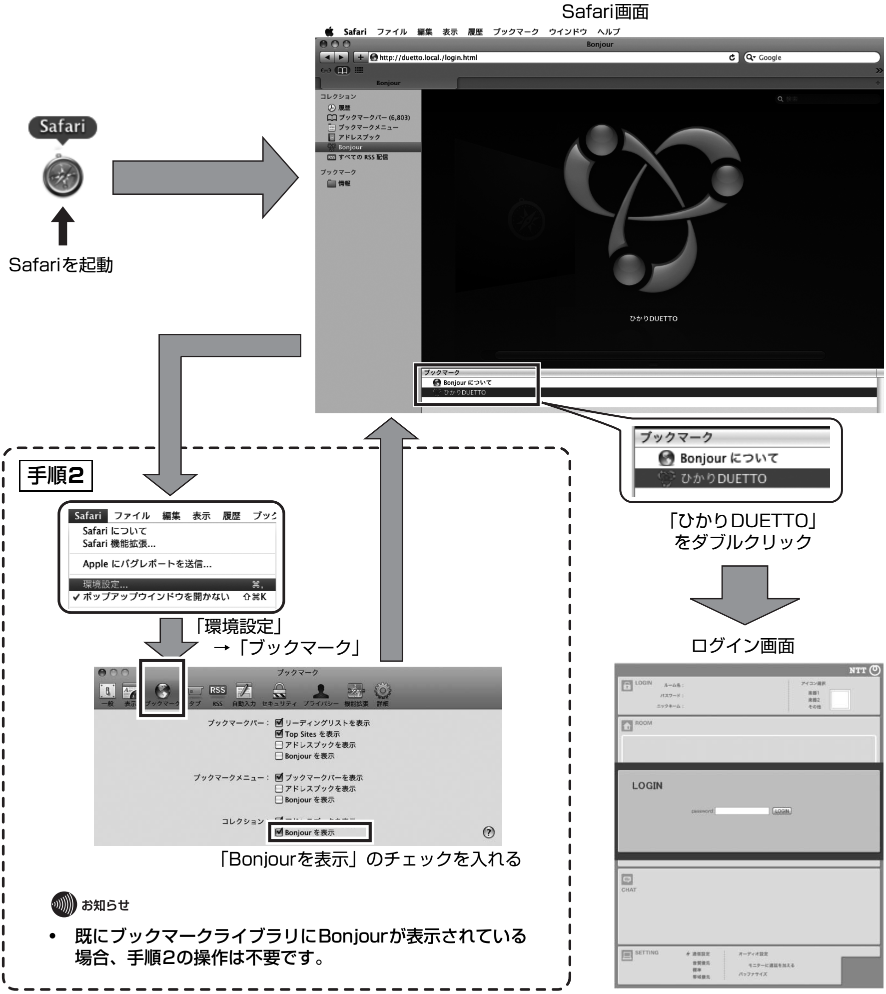
● Mac OSX Safari上での検出

Mac OSXのSafari上から、同一ネットワーク上の本体を見つけ、接続します。

1. MacでSafariを起動します。
2. メニューから「Safari」→「環境設定」→「ブックマーク」を開き、「コレクション」のところにある「Bonjourを表示」のチェックを入れてください。
3. ブックマークライブラリの「Bonjour」を選択し、「ひかりDUETTO」をダブルクリックすることで、IPv4インターネットモード用のログイン画面が表示されます。

お知らせ

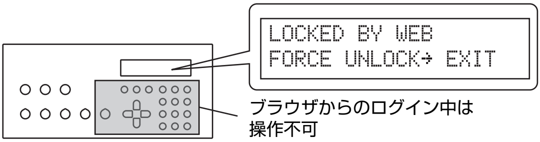
- ブックマークに検出された台数が複数ある場合、2台目、3台目と検出された順に「ひかりDUETTO」のうしろに(1)、(2)と数字が表示されます。



オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

■ IPv4インターネットモードによる接続

パソコンなどのブラウザから、検出した本体にログインし、NETDUETTO βアプリケーションと同等の機能を実現します。ブラウザからのログイン中は、本体のMIXコントロールつまみとこれより右側にあるボタンの操作は行えません。ディスプレイ画面にロック中の旨が表示されます。



ワンポイント
- パソコンの設定などにより検出が行えない場合があります。その場合は下記のURLを直接ブラウザに入力することで接続してください。

  http://[本体のIPv4アドレス]/login.html

  本体のIPv4アドレスの確認方法は「現在設定値を確認するには」(☞P29)を参照してください。

本体の[EXIT]ボタンにより強制的にログアウトし、本体操作が行えるようになります。このとき本体の表示は、ロック中の旨の表示直前の状態に戻ります。

ワンポイント
- IPv4インターネットモード中も、入力音のボリュームは本体のつまみ操作で設定可能です。

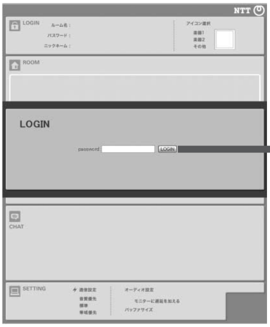
お知らせ
- NETDUETTO β (Windows/Mac用アプリケーション)と比較し、以下の機能が存在しません。
  ・「マイク入力」のボリューム設定
  ・WAVEファイル再生機能
  ・詳細情報画面
  ・接続画面のグラフによる遅延表示
  ・オーディオ設定画面
- NETDUETTO βのモニター遅延のON/OFF、オーディオの内部バッファサイズの設定項目はメイン画面にあります。
- NETDUETTO βの チャット画面は別ウインドウではなく、メイン画面に統合されます。

■ ブラウザ画面について

ブラウザ画面は以下のように画面遷移します。

ログイン画面

パスワードを入力してログインする画面です。



ログイン画面でパスワードを入力して[LOGIN]をクリックする。

お願い

- ブラウザからの接続・設定等の操作を行う場合、2つ以上同時に本体にログインした状態にしないでください。

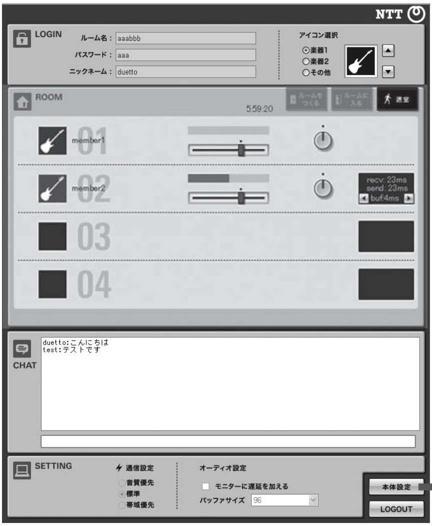
本体設定画面

パスワードの変更やファームウェアを更新する画面です。

設定画面で[戻る]をクリックする。

メイン画面

セッションをする画面です。



メイン画面で[本体設定]をクリックする。

お知らせ

- 対応ブラウザは以下になります。(2012年11月現在)
  Windows®
  Internet Explorer® 9.0
  Google Chrome® 17.0〜23.0
  Mozilla Firefox® 9.0〜16.0
  Mac® OSX
  Safari® 5.0〜6.0
- 本接続モードは、ヤマハ(株)の接続サーバーを介しての接続となります。
- 本接続モードは、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要となります。

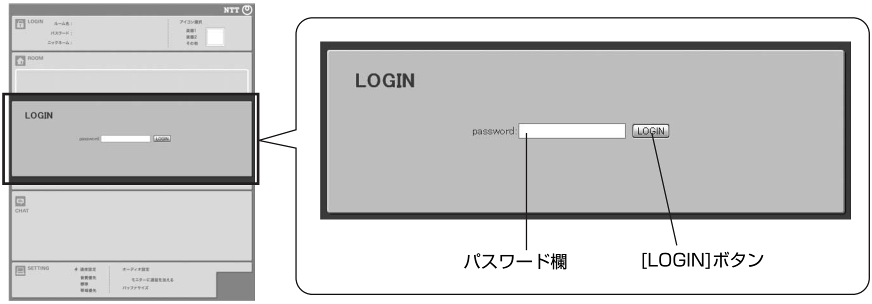
オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

● ログインするには

ブラウザからログインを行います。
ログイン画面において、パスワードを入力し、[LOGIN]ボタンをクリックします。初期状態のパスワードは「user」です。

お知らせ
- ログイン後、本体のディスプレイには、「LOCKED BY WEB FORCE UNLOCK→EXIT」が表示され、画面がロックされます。

ログイン画面



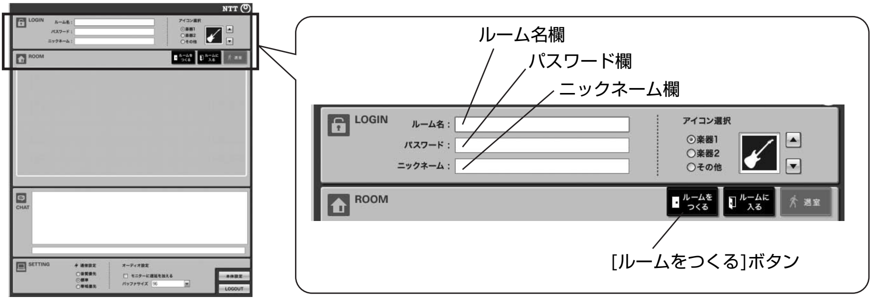
お願い
- **ブラウザからの接続・設定等の操作を行う場合、2つ以上同時に本体にログインした状態にしないでください。**

● セッションを開始するには

ブラウザから接続を行います。

1 新しく部屋を作るには、ログイン後、メイン画面にて、「ルーム名」、「パスワード」、「ニックネーム」を入力し、[ルームをつくる]ボタンをクリックします。

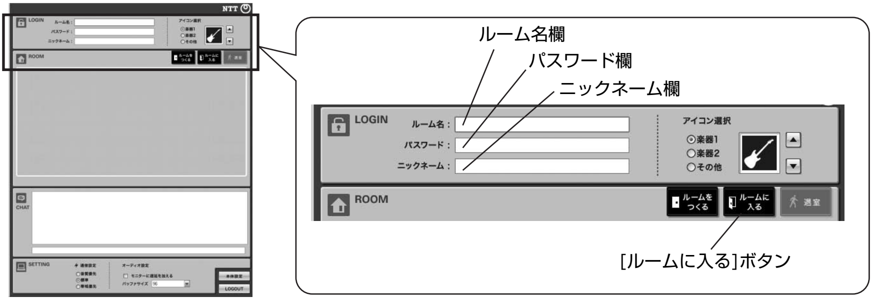
メイン画面



お知らせ
- 「ルーム名」、「パスワード」は最大127文字(半角英数字の場合)です。
- 「ニックネーム」は最大63文字(半角英数字の場合)です。

2 他の拠点が作成した部屋に入るには、「ルーム名」、「パスワード」、「ニックネーム」を入力し、[ルームに入る]ボタンを押します。すでに他の拠点が入室していた場合や新しく拠点が入室してきた際に自動的に接続され、セッションが開始されます。

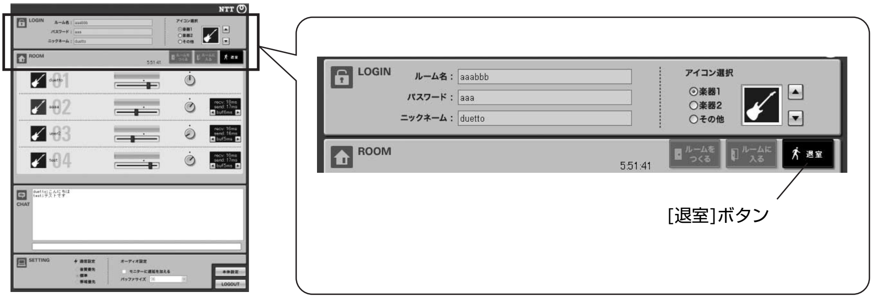
メイン画面



● セッションを切断するには

[退室]ボタンを押します。

メイン画面

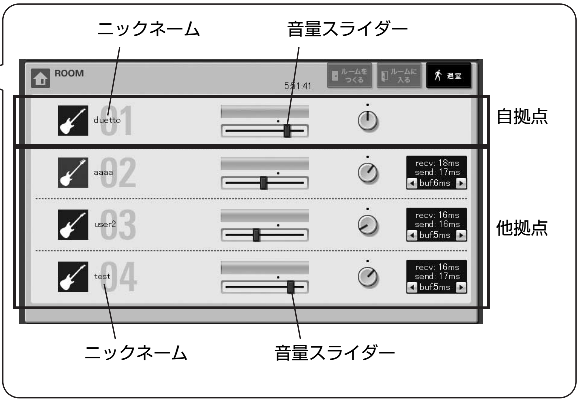


オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

● 音量バランスを調節するには

各拠点の音量を調節します。
接続中、メイン画面上の「ROOM」エリアに表示されている各拠点のニックネームの右に表示されているスライダーをマウスで操作します。
一番上には自拠点のニックネームが表示され、対応するスライダーではモニター音量が調節されます。

メイン画面



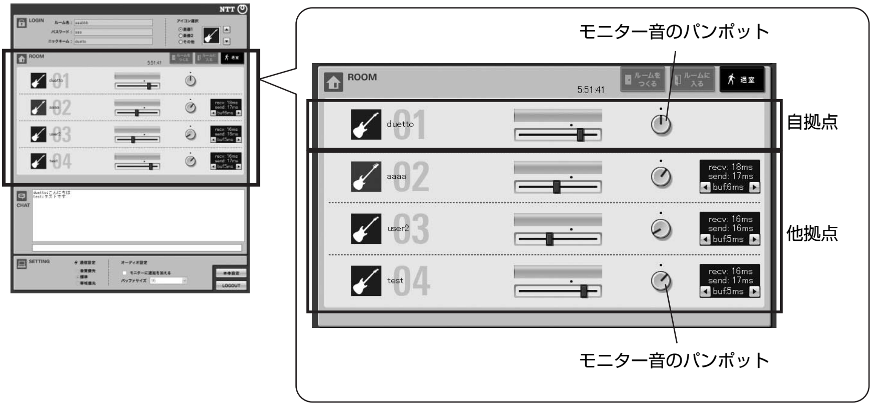
お知らせ

- IPv4インターネットモードでの接続では、本体のMIXつまみは機能しません。音量バランスはブラウザ画面上で調節します。
- 設定範囲は−90dB〜0dB〜+7dBです。
- お買い求め時の音量は「0dB」に設定されています。
- 自拠点の音量は退出すると「0dB」に戻ります。他拠点の音量はログアウトすると「0dB」に戻ります。
- 他拠点の入力音の音量はセッション中だけ調節可能です。

● パンポットを調節するには

接続中、メイン画面上の「ROOM」エリアに表示されている各拠点のニックネームの右に表示されているつまみをマウスで操作します。
一番上には自拠点のニックネームが表示され、対応するつまみではモニター音のパンポットが調節されます。

メイン画面



お知らせ

- 設定範囲は、左～中央～右です。
- お買い求め時は、値は「中央」に設定されています。
- 自拠点のパンポットは退出すると「中央」に戻ります。他拠点のパンポットはログアウトすると「中央」に戻ります。
- 他拠点の入力音のパンポット(音像定位)はセッション中だけ調節可能です。

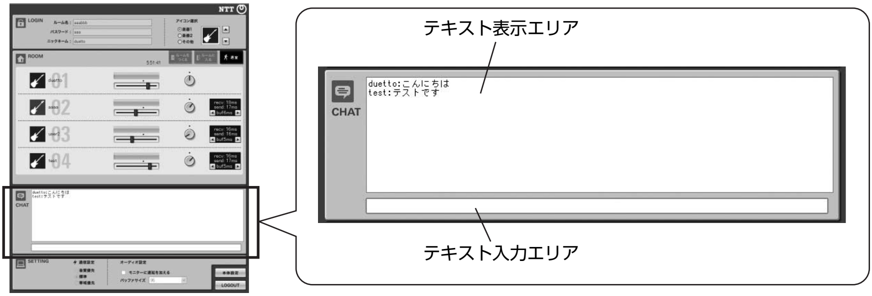
オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

● チャットを行うには

接続中のメンバーとチャットをするための設定です。
接続中、画面上の「CHAT」エリアの一番下に表示されているテキスト入力エリアにパソコンで文字を入力し、ENTERキーを押します。
「CHAT」エリア上部のテキスト表示エリアにテキスト入力結果が表示されます。
他のメンバーがチャットの入力を行った場合にも、テキスト表示エリアに表示されます。

お知らせ
- **テキスト表示エリアは最大10行まで表示されます。**
- **1行あたりの最大文字数はブラウザの設定や種類により異なります。**

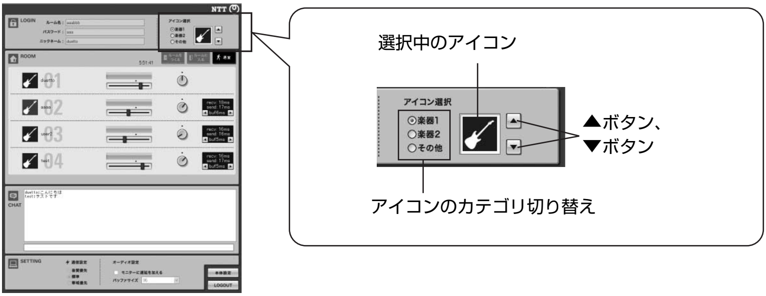
メイン画面



● アイコンを変更するには

自拠点のアイコンを変更します。変更は他の拠点にも通知されます。
接続中、メイン画面右上部の「アイコン選択」エリアにて、▼ボタン、▲ボタンを押してアイコンを選びます。ラジオボタン([楽器1]、[楽器2]、[その他])でアイコンのカテゴリを切り替えます。

メイン画面



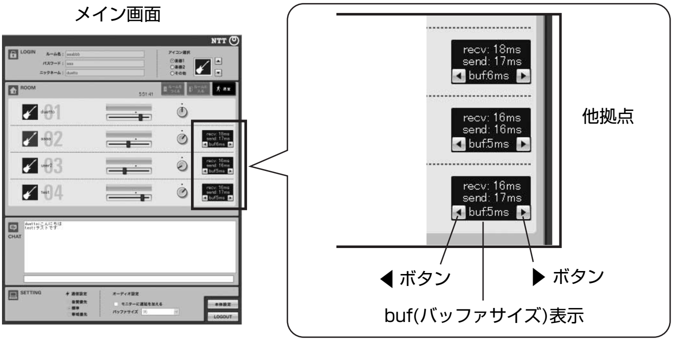
選択可能なカテゴリの数(3種類)、アイコンの数(54種類)です。
他の拠点がアイコンを変更した場合には、該当拠点のニックネームの左横に表示されるアイコンが変更されます。

お知らせ
- **自拠点のアイコンを変更すると、他拠点のブラウザに表示されている自拠点のアイコンは数秒で更新されます。**

● 他拠点の入力音の受信バッファサイズを調節するには

接続中の他拠点からの入力音の受信バッファサイズを個別に調節します。
接続中、メイン画面上の「ROOM」エリアに表示されている各拠点の右端下部にある◀ボタン、▶ボタンを操作します。設定された値は画面上の「buf:」(バッファサイズ)に表示されます。

メイン画面



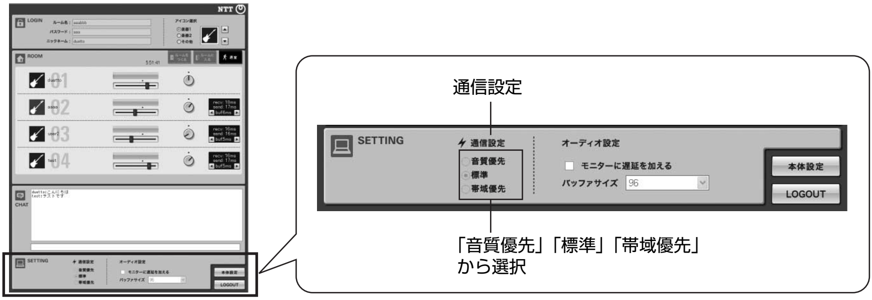
お知らせ

- 初期値は、接続後に、システムにより自動的に決められます。
- 回線混雑により、受信したデータが途切れ途切れに再生されてしまう場合にバッファサイズを大きくすることで改善することがあります。
- 他拠点が本商品の場合、設定値の変更範囲は、他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズの設定の関係により異なります。詳しくは『他拠点の入力音の受信バッファサイズ変更範囲表』(☛P38)をご覧ください。
- 他拠点がNETDUETTO βの場合、設定値の設定範囲は他拠点側のパソコンの設定により異なります。

● 通信に用いるオーディオ品質を調節するには

通信に用いるオーディオ品質の設定を行います。「音質優先」「標準」「帯域優先」の3つから選択します。接続時には、接続先の拠点の設定と自拠点の設定で音質の【低い】ほうが選択されます。接続されていない状態で、メイン画面上の「通信設定」エリアにあるラジオボタンをクリックして設定します。

メイン画面



お知らせ

- オーディオ品質はそれぞれ以下のようになります。

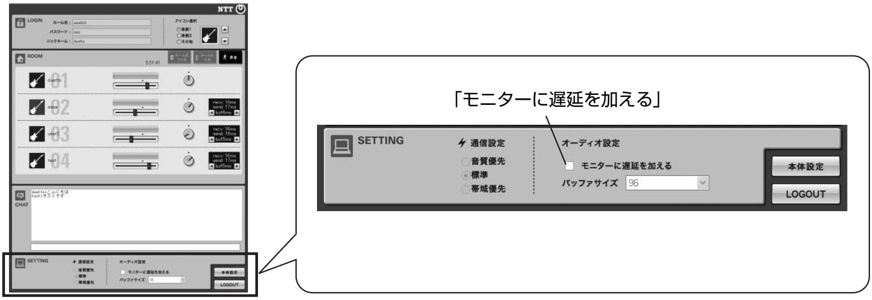
  音質優先：リニア44.1kHz非圧縮、標準：リニア22.05kHz非圧縮、帯域優先：11.025kHz圧縮
- お買い求め時は「標準」に設定されています。
- 設定はログアウト時に本体に保存され、電源を切っても保持されます。ログアウト前に電源を切ると設定は保存されません。

オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

● 自拠点の入力音の遅延を調節するには

自拠点のモニター音に遅延を入れて、他拠点との発音のずれを小さくします。接続されていない状態で、「オーディオ設定」エリアにある「モニターに遅延を加える」のチェックを入れます。

メイン画面



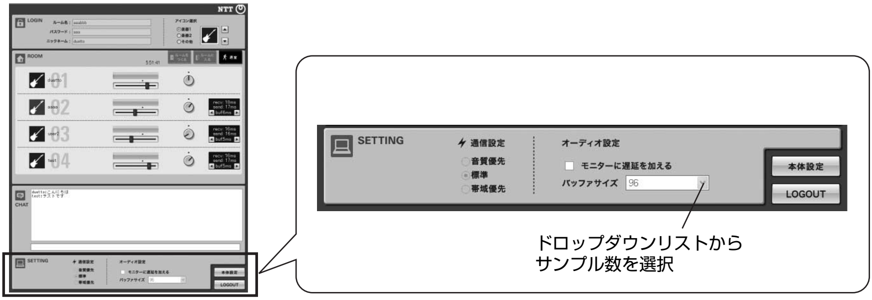
お願い
- 遅延を加えることで演奏がしにくくなることがあります。その場合はOFFに設定してください。

お知らせ
- お買い求め時は、モニター遅延は「OFF」に設定されています。
- 電源を切っても設定は保存されます。
- もっとも遅延が大きい拠点の遅延時間に合わせて、自拠点のモニター音が遅延されるよう設計されています。
- 最大で20msec遅延させるように設計されています。
- 拠点ごとの遅延時間は、メイン画面上の「ROOM」エリアにある各拠点の「send:」の右に表示されます。

● 他拠点の入力音のオーディオデバイスバッファサイズを調節するには

受信したデータが途切れ途切れに再生されてしまうことを防ぐために、本体で扱うオーディオのバッファサイズを変更します。接続されていない状態で、「オーディオ設定」エリアにある「バッファサイズ」のドロップダウンリストをクリックします。「80」「96」「128」からサンプル数を選択します。

メイン画面



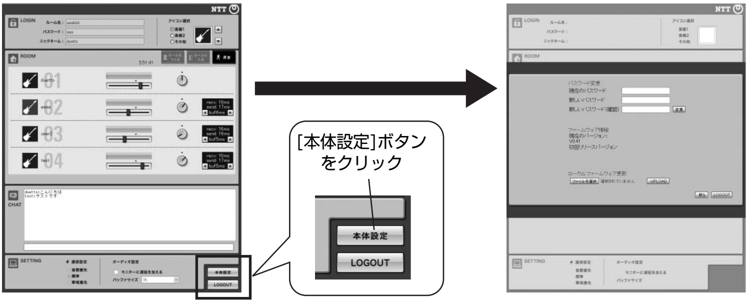
お知らせ
- 設定値は「80」,「96」,「128」の3種類です。
- お買い求め時は、サンプル値は「96」に設定されています。
- 設定はログアウト時に本体に保存され、電源を切っても保持されます。ログアウト前に電源を切ると設定は保存されません。

● ログインパスワードを設定するには

ブラウザのログイン画面からログインするためのログインパスワードを変更します。設定可能なパスワードは半角英数字と記号(スペースを除く)で最大32文字です。

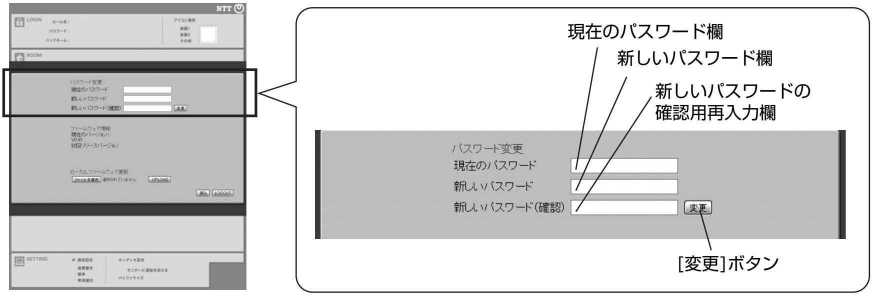
1 ログイン後、メイン画面右下にある[本体設定]ボタンをクリックし、本体設定画面を開きます。

メイン画面　　　　本体設定画面



2 「ログインパスワード変更」欄にて
・現在のパスワード
・新しいパスワード
・新しいパスワードの確認用再入力
を入力し、[変更]ボタンをクリックします。

本体設定画面

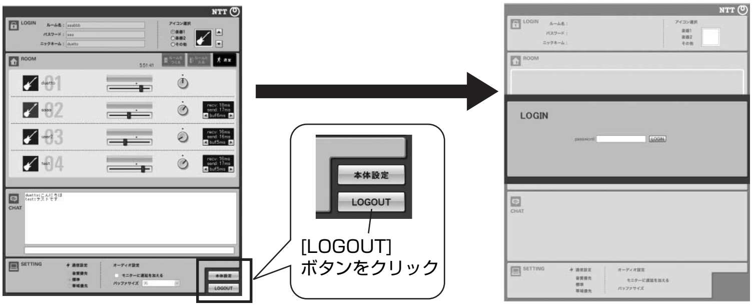


オプションモードでセッションをするには (IPv4インターネットモード)

● ログアウトをするには

ブラウザのメイン画面右下にある[LOGOUT]ボタンをクリックし、ログアウトします。
ログアウトすると、ブラウザはログイン画面に戻り、本体のボタンやつまみの操作のロックが解除されます。

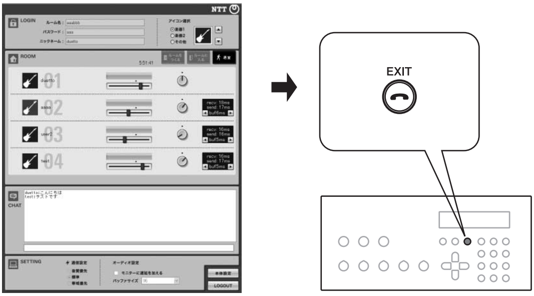
メイン画面　　　　ログイン画面



● 強制ログアウトをするには

ブラウザからログイン中に本体の[EXIT]ボタンを押すと、本体のボタンやつまみの操作のロックが解除されます。本操作によるロック解除後、接続しているブラウザは強制ログアウトした状態になります。

ブラウザ画面



メニュー構成

■ メニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー２	遷移画面・機能
1.Contacts		―	電話帳から選択し接続
2.Register	1.Add	―	電話帳に新規登録
	2.Modify	―	電話帳登録の変更
	3.Delete	―	電話帳登録の削除
3.Setting	1.Audio	1.Monitor Delay	モニター遅延設定
		2.Buffer Size	オーディオデバイスバッファサイズ設定
		3. Ringtone Volume	発着信音量設定
	2.Power Management	1.LCD Backlight	バックライトオフ時間
		2.Lowpower Mode	ローパワーモード時間
	3.Network	1.Modify Setting	DHCP機能の有効化　または 固定IPv4アドレスの設定
		2.Show Setting	ネットワーク設定値の表示
	4.Update Check	―	手動ファームウエア更新確認
	5.Initialize	1.System Init	システムイニシャライズ
		2.Factory Reset	ファクトリーリセット

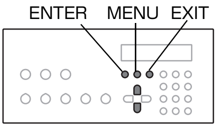
■ 接続中メニュー構成

接続中メニュー	遷移画面・機能
1.Monitor Setting	自拠点モニターパンポット調整
2.Member1 Setting	他拠点 1 ボリューム調整
	他拠点 1 パンポット調整
	他拠点 1 受信バッファサイズ調整
	他拠点 1 遅延確認
3.Member2 Setting(*1)	他拠点 2 ボリューム調整
	他拠点 2 パンポット調整
	他拠点 2 受信バッファサイズ調整
	他拠点ー 2 遅延確認
4.Member3 Setting(*1)	他拠点 3 ボリューム調整
	他拠点 3 パンポット調整
	他拠点 3 受信バッファサイズ調整
	他拠点 3 遅延確認

(*1) フレッツ·v6オプションモードでは、参加している拠点数に応じて選択が可能です。参加拠点は参加した順番にMember1～3と対応付けられます(ただし、たとえば途中でMember2が切断した場合、新しく別の拠点が接続したときにはMember2に対応付けられます)。

初期化を行うには

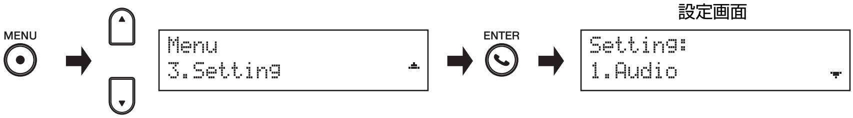
■ システムイニシャライズ



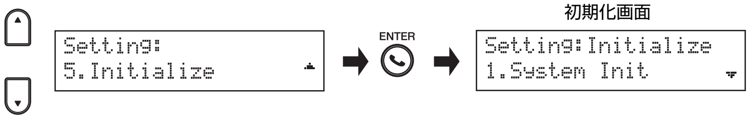
以下の設定を初期化します。

- 固定IPv4アドレスの設定……☛P26
- 着信音のボリューム設定……☛P32
- 自拠点の入力音の遅延(モニター遅延)設定……☛P33, 68
- オーディオ デバイス バッファサイズの設定……☛P34, 68
- バックライトオフ時間の設定……☛P46
- ローパワーモード時間の設定……☛P47
- IPv4インターネットモードでの通信とオーディオ設定……☛P60
- ログインパスワード……☛P62

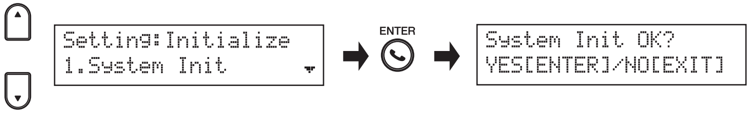
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



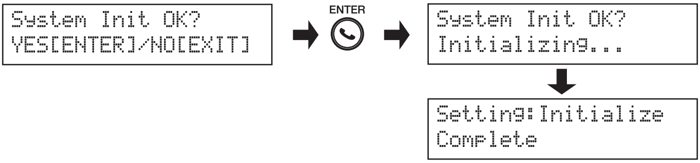
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「5.Initialize」を選択し、[ENTER]を押して初期化画面を開きます。



3 初期化画面で[▲]/[▼]を押して「1.System Init」を選択し、[ENTER]を押します。



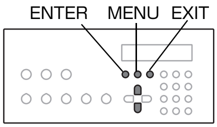
4 確認画面が出るので、[ENTER]を押してシステムイニシャライズを実行します。
システムイニシャライズが完了すると「Complete」と表示されます。



STOP お願い

- **システムイニシャライズ実行中には電源を切らないでください。システムイニシャライズ実行中に電源を切ると初期化されない項目が残る場合があります。この場合は再度システムイニシャライズを実行してください。**

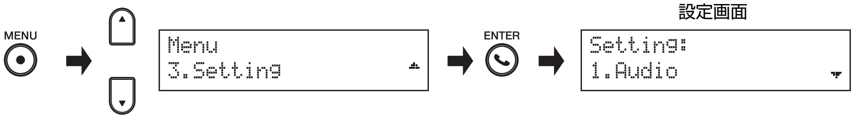
■ ファクトリーリセット



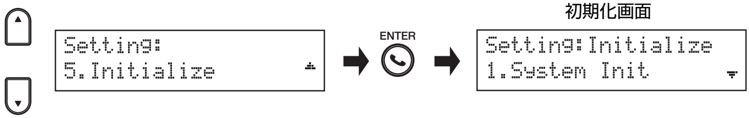
以下の設定を初期化します。

- 固定IPv4アドレスの設定 ☞P26
- 着信音のボリューム設定 ☞P32
- 自拠点の入力音の遅延(モニター遅延)設定 ☞P33, 68
- オーディオ デバイス バッファサイズの設定 ☞P34, 68
- 電話帳への登録 ☞P41
- バックライトオフ時間の設定 ☞P46
- ローパワーモード時間の設定 ☞P47
- IPv4インターネットモードでの通信とオーディオ設定 ☞P60
- ログインパスワード ☞P62

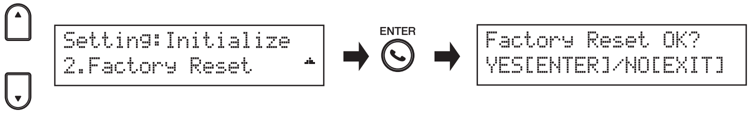
1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。



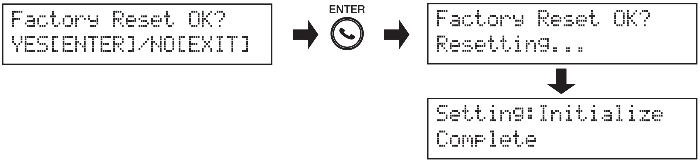
2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「5.Initialize」を選択し、[ENTER]を押して初期化画面を開きます。



3 初期化画面で[▲]/[▼]を押して「2.Factory Reset」を選択し、[ENTER]を押します。



4 確認画面が出るので、[ENTER]を押してファクトリーリセットを実行します。
ファクトリーリセットが完了すると「Complete」と表示されます。



お願い

- **ファクトリーリセット実行中には電源を切らないでください。ファクトリーリセット実行中に電源を切ると初期化されない項目が残る場合があります。この場合は再度ファクトリーリセットを実行してください。**

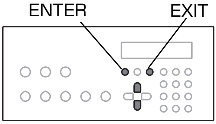
5 ご参考に

ファームウェアを更新するには

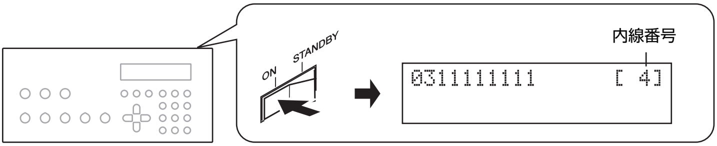
ファームウェアの更新があった場合に通知を行います。緊急のファームウェアの更新の場合は自動的にアップデートを行います。

お知らせ
- 本機能は、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライトおよびひかり電話サービスへの契約が必要です。
- 本機能は、NTT東日本/NTT西日本より配布されるひかり電話対応ルータが必要です。
- ひかり電話対応ルータに他のルータをつなぎ、その下部に接続している場合はこの機能は使用できません。

■ 起動後の初回確認

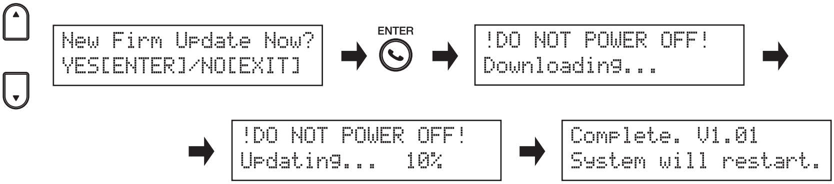


1 電源を入れたあと、内線が自動的に登録されて表示されます。



2 新しいファームウェアが存在する場合、画面上に「New Firm Update Now?」と表示されますので、[ENTER]を押すとアップデートを実行します。[EXIT]を押すとアップデートを中止して、本機能に入る直前の画面に戻ります。どちらかのボタンが押されるまで「New Firm Update Now?」が表示されます。

お願い
- **緊急のアップデートがある場合は、自動的にアップデートを開始します。**
- **アップデート中は絶対に本体の電源を切らないでください。**



ファームウェアアップデート中は進捗状況が表示されます。
アップデート中はボタン操作を受け付けません。

3 アップデート後、自動的に再起動が行われます。

お知らせ
- 再起動後、トップ画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。トップ画面が表示されるまでの間、本商品は使用できません。

■ 定期確認

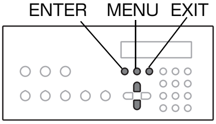
初回確認後、ネットワークに接続したままにしておくと、本商品を起動した時刻から24時間ごとにファームウェアアップデートの有無を確認し、ファームウェアがあった場合、右記メッセージが表示されます。

[ENTER]を押すとアップデートが開始されます。（上記「起動後の初回確認」の手順2、3と同じ）
[EXIT]を押すとアップデートを中止して、本機能に入る直前の画面に戻ります。どちらかのボタンが押されるまで「New Firm Update Now?」が表示されます。

お願い
- **アップデート中は絶対に本体の電源を切らないでください。**

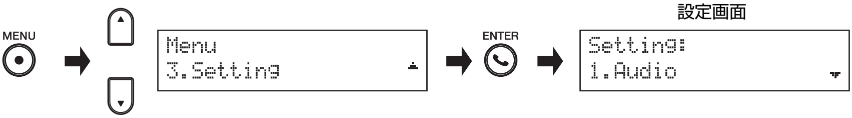
■ 手動アップデート確認

ファームウェアの更新がないかを確認します。



1 [MENU]を押し、[▲]/[▼]で「3.Setting」を選択し、[ENTER]を押して設定画面を開きます。

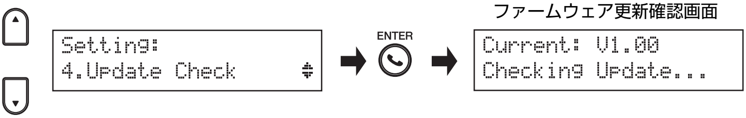
設定画面



2 設定画面で[▲]/[▼]を押して「4.Update Check」を選択し、[ENTER]を押します。

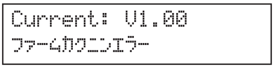
ファームウェアの確認動作が行われます。

ファームウェア更新確認画面

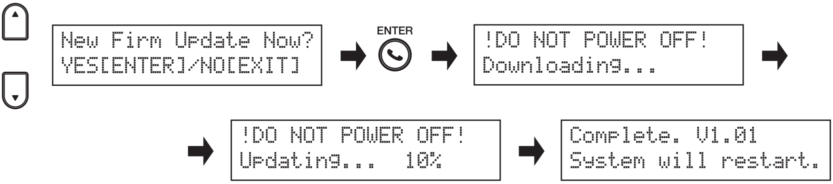


STOP お願い

- **内線が登録されていないと以下のエラー表示になります。ひかり電話対応ルータと本体を接続して、内線の登録を行ってください。**



3 新しいファームウェアが存在すると、画面上に「New Firm Update Now?」と表示されますので、[ENTER]を押すとアップデートを実行します。[EXIT]を押すとアップデートを中止して、本機能に入る直前の画面に戻ります。どちらかのボタンが押されるまで「New Firm Update Now?」が表示されます。



ファームウェアアップデート中は進捗状況が表示されます。

アップデート中はボタン操作を受け付けません。

STOP お願い

- **アップデート中は絶対に本体の電源を切らないでください。**

4 アップデート後、再起動が自動的に行われます。

お知らせ

- 再起動後、トップ画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。トップ画面が表示されるまでの間、本商品は使用できません。

ファームウェアを更新するには

■ パソコンからのファームウェア更新

お知らせ　• ファームウェアの更新時期・方法などにつきましては、以下のホームページをご確認ください。
当社ホームページ：［NTT東日本］http://web116.jp/ced/
［NTT西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

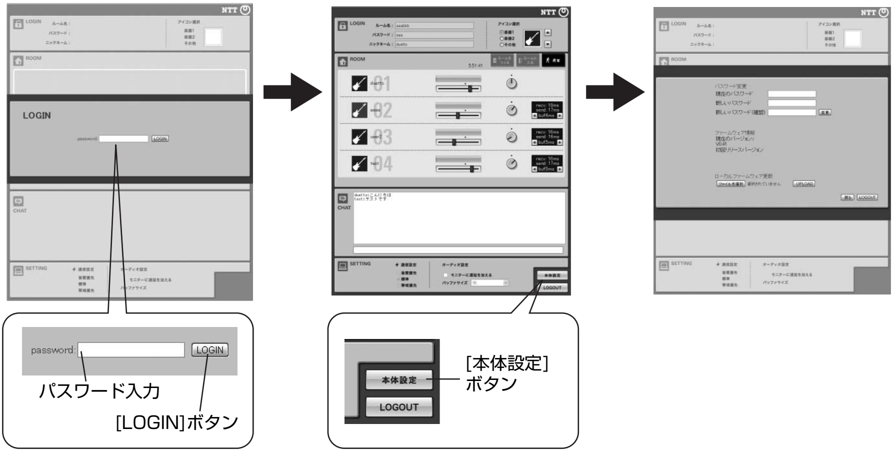
1 パソコンから本商品を検出して(☛P56)ブラウザのログイン画面を開きます。

2 パスワードを入力してログインし、ブラウザのメイン画面を開きます。(☛P62)

STOP お願い　• **ブラウザからの接続・設定等の操作を行う場合、2つ以上同時に本体にログインした状態にしないでください。**

3 メイン画面の右下にある[本体設定]ボタンをクリックし、ブラウザの本体設定画面を開きます。

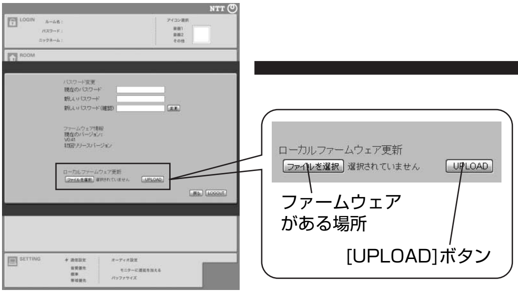
ログイン画面　メイン画面　本体設定画面



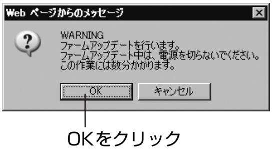
4 本体設定画面の「ローカルファームウェア更新」でファームウェアがある場所を指定し、画面の[UPLOAD]ボタンをクリックします。

5 Webブラウザの確認ダイアログが表示されるのでOKをクリックします。

本体設定画面



確認ダイアログ



お知らせ
お使いのパソコンのOSやWebブラウザにより、確認ダイアログのイメージは異なります。

以上でファームウェアの更新が開始します。更新が終了すると、本体は自動的に再起動します。

お知らせ
• ファームウェアの更新中は、ブラウザの操作を行わないでください。
• 再起動後、トップ画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。トップ画面が表示されるまでの間、本商品は使用できません。

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因と対応	参照ページ
本商品が起動しない	• 電源アダプタのコードが本商品に接続されているか確認してください。	☛P22
内線番号が登録されない	• 本商品とひかり電話対応ルータの接続を確認してください。	☛P17
モニタースピーカから音が出ない	• モニタースピーカ、本商品、楽器の電源が入っているか確認してください。	☛P22
	• モニタースピーカ、本商品、楽器のボリュームが0になっていないか確認してください。	—
	• モニタースピーカ、本商品、楽器をつなぐケーブルの接続が間違っている可能性があります。正しく接続してください。	☛P19
	• ケーブル類が抜けている可能性があります。正しく差し込んでください。	—
	• ケーブル類が傷んでいる可能性があります。交換してください。	—
	• 本商品のインプットゲインが0になっていないか確認してください。	☛P31
	• 本商品のMIX(ミックス)コントロールが右に振り切れていないか(YOUになっていないか)確認してください。	☛P35
片方のモニタースピーカからしか音が出ない	• ギター、ベース、マイクロフォンを入力している場合は[MONO/STEREO] (モノ/ステレオ) ボタンをオンにしてください。楽器をステレオ入力している場合は[MONO/STEREO] (モノ/ステレオ) ボタンをオフにしてください。	☛P19
	• 自拠点または他拠点のパンポットを調整してください。	☛P35 ☛P37 ☛P65
他拠点の入力音が小さい	• 本商品のミックスコントロールを調整してください。	☛P35
複数拠点と接続中音が頻繁に途切れる	• 回線が混雑している可能性があります。他拠点の入力音の受信バッファを調整してください。	☛P38 ☛P67
フレッツ･v6オプションモードで接続できない。	• IPv6アドレスが取得できていない可能性があります。アドレスが取得できているか確認してください。	☛P29
IPv4インターネットモードで接続できない。	• IPv4アドレスが取得できていない可能性があります。アドレスが取得できているか確認してください。	☛P29

文字入力について

他拠点の電話番号やフレッツ･v6オプションモードで利用する部屋番号を、本体内蔵の電話帳へ登録する際の、文字入力の基本操作について説明します。

■ 文字入力の方法

- 数字ボタン、[*]ボタンを使い文字を入力します。文字は最大16文字まで入力可能です。
- 数字ボタンは繰り返し押すことでカタカナ→ローマ字小文字→ローマ字大文字→数字の順で入力が切り替わります。各数字ボタンへの文字/数字の割り当ては次ページの『数字ボタンへの文字/数字の割り当て表』を参考にしてください。
- [◀]/[▶]でカーソルを移動します。
- カーソルがある場所に文字が入力(挿入)されます。もともとあった文字は1つ右に移動します。
- カーソルが右端にあるときに[▶]を押すとスペースが挿入されます。
- [▼]を押すと、カーソルに文字がある場合はその文字を、文字がない場合は1 文字手前の文字を消去します。

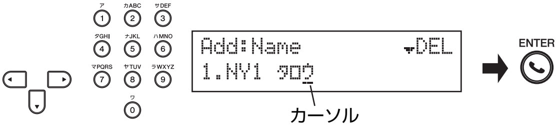
《例》電話帳に新規登録する画面で「NY1 タロウ」と入力する場合

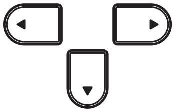
1 **入力したい文字が割り当てられている数字ボタンを押します。**

ここでは、次のように数字ボタンを押します。

1. 「N」: (6)を10回押す。
2. 「Y」: (9)を12回押す。
3. 「1」: (1)を11回押す。
4. 「スペース」: [▶]を2回押す。
5. 「タ」: (4)を1回押す。
6. 「ロ」: (9)を5回押す。
7. 「ウ」: (1)を3回押す。

2 **[ENTER] を押して登録名を確定します。**





■ 番号入力の方法

- 数字ボタン、[*]ボタン、[#]ボタンを使い番号を入力します。番号は最大16桁まで入力が可能です。
- [◀]/[▶]でカーソルを移動します。
- カーソルがある場所に数字が入力(挿入)されます。もともとあった数字は1つ右に移動します。
- [▼]を押すと、カーソルに数字がある場合はその数字を、数字がない場合は1 文字手前の数字を消去します。
- 番号入力後[ENTER]を押して番号を確定します。

■ 数字ボタンへの文字/数字の割り当て表

ボタン	入力される文字 / 数字
1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1
2	カ キ ク ケ コ a b c A B C 2
3	サ シ ス セ ソ d e f D E F 3
4	タ チ ツ テ ト ッ g h i G H I 4
5	ナ ニ ヌ ネ ノ j k l J K L 5
6	ハ ヒ フ ヘ ホ m n o M N O 6
7	マ ミ ム メ モ p q r s P Q R S 7
8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ t u v T U V 8
9	ラ リ ル レ ロ w x y z W X Y Z 9
0	ワ ヲ ン ー 0
*	濁点 (゛) または半濁点 (゜) が付くカタカナにカーソルがあるときに押すと、濁点または半濁点が付く。 濁点 / 半濁点が付かない文字のときに押しても機能しない。 数字入力のときに押すと、アスタリスク (＊) が入力される。
#	数字入力のときに押すと、ナンバーサイン (#) が入力される。 文字入力のときに押しても機能しない。
◀	カーソルを左へ 1 つ移動
▶	カーソルを右へ 1 つ移動
▲	割り当て文字 / 数字と割り当て機能なし
▼	カーソルがある位置の文字を削除する。入力した文字の最後の位置で押した場合は 1 つ前の文字を削除する。

用語の説明

数字

10BASE-T .... IEEE802.3で規格されたもので、データ転送速度が10 Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル(通常、LAN機器とHUBを接続するような場合に使用されるケーブル)を用います。

100BASE-TX .... IEEE802.3uで規格された高速LANのひとつで、データ転送速度が100 Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル(通常、LAN機器とHUBを接続するような場合に使用されるケーブル)を用います。

1000BASE-T..................... IEEE 802.3abで規格された高速LANのひとつで、データ転送速度は最大1Gbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル(通常、LAN 機器とHUB を接続するような場合に使用されるケーブルの中でカテゴリ5e以上に対応したケーブル)を用います。

アルファベット

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)
IPアドレスやDNSサーバーアドレスなど、ネットワーク端末の設定情報を動的に割り付けるプロトコルです。

DNS (Domain Name System)
ネットワークのIPアドレスとドメイン名を解決するためのシステムで、ドメイン名から対応するIPアドレスへの変換/逆変換を行います。

HI-Z (hi-impedance) .... 数10kΩ以上の高い抵抗値を指します。高い抵抗により、エレキギターやベースなどからの大きな出力を入力できるようにしてある端子をHI-Zインプット(入力)端子といいます。

IPアドレス......................... ネットワーク上の機器を特定するために使用される番号です。IPアドレスは、「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で表され、ネットワーク内の全ての機器に個別のIPアドレスが割り当てられています。ローカルネットワークで使われるIPアドレスを「プライベートIPアドレス」といい、インターネットで使われるIPアドレスを「グローバルIPアドレス」といいます。

LAN (Local Area Network)
ひとつの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なネットワークです。

NETDUETTO β .... ヤマハ(株)が NETDUETTO を応用して開発したアプリケーションです。インターネット経由で音楽セッションやカラオケのデュエットなどが行なえます。

Pan(pan pot/パンポット) .. 音の左右の定位のことをパンポットといいます。パンポットを調整することにより、たとえばエレキギターと電子ピアノの合奏をステレオで聴く場合、エレキギターの音を左から、電子ピアノの音を右から聴くというような効果が得られます。

PHANTOM(ファンタム)電源
コンデンサマイクなど電気が必要な機器に、これらが接続している機器側からケーブルを通じて電源を供給するものです。

Webブラウザ...................... Webページ(WWWシステムを使ってインターネット上で公開されている文書)を閲覧(ブラウザ)するためのソフトウェア。代表的なものとしてInternet Explorerがあります。

XLRケーブル...................... マイクロフォンの接続用として使われることが多く、キャノンケーブルとも呼ばれています。

五十音

【ア行】

アンバランス方式............... 信号線とアース線の２線で機器間の音声信号を伝送する方式です。機器同士の距離が短い場合に適した接続方式です。

イーサネット...................... １970年代に米国ゼロックス社が開発し、現在では代表的なLANの規格のひとつです。LANの標準化組織であるIEEE802委員会が標準化したIEEE802.3とイーサネットとは同義語として扱われることがあります。

【カ行】

コンデンサマイク............... マイクロフォンの種類のひとつで、コンデンサを内蔵したマイクロフォンのことをいいます。コンデンサマイクでは、音の振動によりコンデンサの静電容量に変化が発生するようになっています。コンデンサに電圧をかけると、静電容量の変化に比例した電圧の変化として音の振動を取り出すことが可能です。他の種類のマイクロフォンに比べ繊細な音が取り出せますが、コンデンサに電圧をかけるための電源を必要とします。

【サ行】

サブネットマスク............... IPアドレスのネットワーク部分を識別するためのマスクを表します。

【タ行】

着信音................................ 電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことです。

【ハ行】

パワーアンプ....................... 入力された音声信号を増幅してスピーカーを駆動する音響機器です。

バランス方式....................... 正相信号線、逆相信号線、アース線の３線で機器間の音声信号を伝送する方式です。正相信号線と逆相信号線により、外部からのノイズが打ち消しあうため、マイクとミキサー間など機器同士の距離が長くノイズの混入が多い場合の接続に適しています。

ひかり電話.......................... NTT東日本またはNTT西日本が提供する光IP電話サービスです。

ひかり電話対応ルータ........ NTT東日本またはNTT西日本が提供するひかり電話を利用するために必要な回線と電話機等を接続するためのIP電話対応機器のひとつです。

ファームウェア .... 本商品に内蔵されていて、本商品の動作を制御するソフトウェアのことを指します。ファームウェアは機能の追加や不具合の修正のためにあとから変更できるようになっており、ファームウェアの更新を行うことで、最新機能をご利用いただけます。

フォーンケーブル................ フォーン端子と接続するためのケーブルです。フォーン端子とは6.3mm(1/4インチ)径の端子で、一般的な音楽機器類で使用されている端子です。

【マ行】

メニュー設定........................ ディスプレイを見ながらメニュー操作を行うことにより、各種の登録・設定を行うことです。メニューは、電話帳設定、オーディオ設定、パワーマネジメント設定、ネットワーク設定、アップデートチェック、初期化設定などに分かれています。また、自IPアドレスなどネットワークの現在設定値もメニューから確認可能です。

【ラ行】

ルータ(Router) .... LAN同士やLANとWANを接続するための中継装置です。

索引

アルファベット

DC IN端子 22
DHCPクライアント機能 26, 27
DNSサーバーアドレス 27, 28, 80
Favorite 41, 49, 50, 54
GAIN(ゲイン)コントロール 13, 31
IPアドレス 26, 80
MASTER(マスター)コントロール 13, 31
ME - YOU 35
Member設定画面 36
PEAK(ピーク)インジケータ 14, 31

五十音

【ア行】

アイコン 66
アナログ入力端子 14
イーサネットケーブル 17
エレキギター 19
オーディオ設定画面 32
オーディオデバイスバッファサイズ 34, 68
オーディオ入出力機能の電源 46
オーディオ品質 67
音量調節 31, 36, 64
音量バランス 35

【カ行】

確認 25, 29
各部の名前と機能 13
ギター 19
グループ 49
現在設定値 29
構成品 12
故障かな？と思ったら 77
コンデンサマイク 20, 81

【サ行】

再起動 74, 75, 76
サブネットマスク 27, 28, 81
サンプル値 34
システムイニシャライズ 72
自動取得 26
受信バッファサイズ 38, 67
手動アップデート 75
手動設定 27
ショートカット機能 50
仕様 84
初期化 72, 73
新規登録 41
シンセサイザ 19
スタンバイ/オンスイッチ 14, 22
セッション 10, 11
セッションを開始
　IPv4インターネットモード 62
　ひかり電話モード 48, 49, 50, 51
　フレッツ･v6オプションモード 52, 53, 54
セッションを終了
　IPv4インターネットモード 63
　ひかり電話モード 51
　フレッツ･v6オプションモード 55
設定画面 26
設定項目 15
設定表示 15

【タ行】

他拠点数 53
遅延状況 39
着信音量 32
チャット 66
定期確認 74
ディスプレイ 15
デフォルトゲートウェイアドレス 28, 30
電源 22, 23
電源アダプタ 22
電子ピアノ 19
伝達遅延 39
トップ画面 15

【ナ行】

ナンバー・ディスプレイ.. 45
ニックネーム 62, 63, 64
認証番号.. 52
ネットワーク設定画面... 26

【ハ行】

パスワード 62, 69
バックライト 46
パワーマネジメント設定.. 46
パンポット 35, 37, 65, 80
ファームウェアを更新.................................... 74, 76
ファクトリーリセット... 73
ファンタム電源... 20, 80
ブラウザ 61
ベース 19
部屋番号 52
ボリューム調節.. 31, 36, 64
本体スピーカ 51
本体設定画面 61

【マ行】

マイクロフォン.. 20
メイン画面 61
メニュー構成 71
文字入力 78
モニタースピーカ.. 21
モニター遅延 33, 68

【ヤ行】

用語の説明 80

【ラ行】

ラインアウト端子.. 14
ルーム名 62, 63
ローパワーモード.. 46, 47
ログアウト 70
ログイン 62
ログイン画面 61

仕様

項目		仕様
LANインターフェース(VoIP回線)	接続コネクタ	RJ-45 x 1
	伝送速度	10Base-T/100Base-TX/1000BASE-T 自動切替
	音声 CODEC	L16
アナログ入力	MIC 1/L, 2/R	XLR タイプ、バランス型、+48V ファンタム電源供給 定格入力レベル：－ 60dBu ～－ 16dBu 最大入力レベル：－ 6dBu 入力インピーダンス：3kΩ
	HI-Z 1/L	フォーンタイプ、アンバランス型 定格入力レベル：－ 44dBu ～ 0dBu 最大入力レベル：+10dBu 入力インピーダンス：500kΩ
	LINE 1/L, 2/R	TRS フォーンタイプ、バランス型 定格入力レベル：－ 34dBu ～ +10dBu 最大入力レベル：+20dBu 入力インピーダンス：62kΩ
アナログ出力	LINE OUT L, R	RCA ピンジャック 定格出力レベル：+4dBu 最大出力レベル：+10dBu 定格負荷インピーダンス：10kΩ
	PHONES	ステレオミニジャック 定格出力レベル：3.6mW 最大出力レベル：6.0mW 定格負荷インピーダンス：40Ω
オーディオ品質	ひかり電話モード	16bit/44.1kHz/Mono オーディオストリーム
	フレッツ･v6オプションモード	16bit/44.1kHz/Mono オーディオストリーム
	IPv4インターネットモード	音質優先：16bit/44.1kHz/Mono オーディオストリーム 標準：16bit/22.05kHz/Mono オーディオストリーム 帯域優先：11.025kHz/Mono μ-law圧縮
ディスプレイ		20 桁× 2 行 キャラクターディスプレイ
寸法	最大外形寸法 (W x H x D)	257(W) x 55(H) x 118(D)mm
質量		約 750g
使用環境	電源電圧	AC100V ± 10V　50/60Hz(専用電源アダプタ使用)
	消費電力	最大 9W
	温度範囲	5 ℃～ 40 ℃
	湿度範囲	30% ～ 90%

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間 (1 年間) 中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品 (商品の性能を維持するために必要な部品) を、販売終了後、7 年間保有しています。

オープンソースソフトウェアのご使用条件

本商品は米国 Free Software Foundation, Inc. が定めた GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (以下「ソフトウェア使用許諾契約書」) に基づきフリーウェアとして使用許諾されるソースコードを使用しています。
対象となるソースコードは、ご要望に応じ納品後 3 年以内に限り媒体提供いたします。
提供を希望される場合は、以下の住所にお問い合わせください。なお、媒体提供の際に別途実費を申し受ける場合があります。

〒 430-8650　浜松市中区中沢町 10-1　　ヤマハ (株) デジタル楽器事業部技術開発部

当該ソースコードの使用条件等の詳細につきましては、以下に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。尚、第三者による規定であるため、原文 (英文) を掲載いたします。

- 提供されたソースコードにより作成される、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除などによって発生したいかなる損害について、一切責任を負いません。
- 提供されたソースコードの内容などについての質問には一切お答えできません。
- 提供されたソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証等、いかなる保証責任、担保責任を負いません。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

   In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source

code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

   If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number

of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.
To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.
[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.
This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.
When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.
For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.
Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.
Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.
When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.
We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. How-

ever, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.
For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.
In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.
Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License").
   Each licensee is addressed as "you".

   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it).
   Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.

   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any applica-

tion-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

   Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

   This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

   However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

   When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

   Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason

(not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

    Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms
to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).
To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

BusyBox

BusyBox is distributed under version 2 of the General Public License (included in its entirety, below). Version 2 is the only version of this license which this version of BusyBox (or modified versions derived from this one) may be distributed under.

Sofia-SIP

This package contains the Sofia-SIP library.
Copyright (C) 2005-2006 Nokia Corporation and others (see the in individual files for a detailed list of copyright holders).
Contact: Pekka Pessi <Pekka.Pessi@nokia.com>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License (LICENSE) for more details.

----

libsofia-sip-ua/su/inet_ntop.c

The package also contains files licensed by Internet Software Consortium. These files are distributed with the following copyright notice:
Copyright (c) 1996 by Internet Software Consortium.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND INTERNET SOFTWARE CONSORTIUM DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL INTERNET SOFTWARE CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

libsofia-sip-ua/su/inet_pton.c

The package also contains files licensed by Internet Software Consortium and Internet Systems Consortium, Inc.. These files are distributed with the following copyright notice:
Copyright (c) 2004 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")

Copyright (c) 1996,1999 by Internet Software Consortium.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
----

libsofia-sip-ua/su/sofia-sip/su_addrinfo.h
libsofia-sip-ua/su/su_addrinfo.c

The package also contains files licensed by WIDE Project. These files are distributed with the following copyright notice:
Copyright (C) 1995, 1996, 1997, 1998, and 1999 WIDE Project.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
----

libsofia-sip-ua/su/getopt.c

The package also contains files licensed by IBM Corporation. These files are distributed with the following copyright notice:

> This module contains code made available by IBM Corporation on an AS IS basis. Any one receiving the module is considered to be licensed under IBM copyrights to use the IBM-provided source code in any way he or she deems fit, including copying it, compiling it, modifying it, and redistributing it, with or without modifications. No license under any IBM patents or patent applications is to be implied from this copyright license.
>
> A user of the module should understand that IBM cannot provide technical support for the module and will not be responsible for any consequences of use of the program.
>
> Any notices, including this one, are not to be removed from the module without the prior written consent of IBM.

----

libsofia-sip-ua/su/su_md5.c

The package also contains files written by Colin Plumb. These files are distributed with the following copyright notice:
This code implements the MD5 message-digest algorithm. The algorithm is due to Ron Rivest. This code was initially written by Colin Plumb in 1993, no copyright is claimed. This code is in the public domain; do with it what you wish.
Equivalent code is available from RSA Data Security, Inc. This code has been tested against that, and is equivalent, except that you don't need to include two pages of legalese with every copy.
----

libsofia-sip-ua/su/strtoull.c

The package also contains files licensed by University of California and Sun Microsystems. These files are distributed with the following copyright notice:
Copyright (c) 1988 The Regents of the University of California.
Copyright (c) 1994 Sun Microsystems, Inc.
The following license.terms for information on usage and redistribution of this individual file, and for a DISCLAIMER OF ALL WARRANTIES.

This software is copyrighted by the Regents of the University of California, Sun Microsystems, Inc., Scriptics Corporation, ActiveState Corporation and other parties. The following terms apply to all files associated with the software unless explicitly disclaimed in individual files.
The authors hereby grant permission to use, copy, modify, distribute, and license this software and its documentation for any purpose, provided that existing copyright notices are retained in all copies and that this notice is included verbatim in any distributions. No written agreement, license, or royalty fee is required for any of the authorized uses. Modifications to this software may be copyrighted by their authors and need not follow the licensing terms described here, provided that the new terms are clearly indicated on the first page of each file where they apply.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR DISTRIBUTORS BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, ITS DOCUMENTATION, OR ANY DERIVATIVES THEREOF, EVEN IF THE AUTHORS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
THE AUTHORS AND DISTRIBUTORS SPECIFICALLY DISCLAIM ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT. THIS SOFTWARE IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS, AND THE AUTHORS AND DISTRIBUTORS HAVE NO OBLIGATION TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.
GOVERNMENT USE: If you are acquiring this software on behalf of the U.S. government, the Government shall have only "Restricted Rights" in the software and related documentation as defined in the Federal Acquisition Regulations (FARs) in Clause 52.227.19 (c) (2). If you are acquiring the software on behalf of the Department of Defense, the software shall be classified as "Commercial Computer Software" and the Government shall have only "Restricted Rights" as defined in Clause 252.227-7013 (c) (1) of DFARs. Notwithstanding the foregoing, the authors grant the U.S. Government and others acting in its behalf permission to use and distribute the software in accordance with the terms specified in this license.
----

libsofia-sip-ua/ipt/rc4.c

The package also contains files written by Pekka Pessi. These files are distributed with the following copyright notice:
Copyright (c) 1996 Pekka Pessi. All rights reserved.
This source code is provided for unrestricted use. Users may copy or modify this source code without charge.
THIS SOURCE CODE IS PROVIDED AS IS WITH NO WARRANTIES OF ANY KIND INCLUDING THE WARRANTIES OF DESIGN, MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE OR TRADE PRACTICE.
This source code is provided with no support and without any obligation on the part of author to assist in its use, correction, modification or enhancement.
AUTHOR SHALL HAVE NO LIABILITY WITH RESPECT TO THE INFRINGEMENT OF COPYRIGHTS, TRADE SECRETS OR ANY PATENTS BY THIS SOFTWARE OR ANY PART THEREOF.
In no event will author be liable for any lost revenue or profits or other special, indirect and consequential damages, even if author has been advised of the possibility of such damages.
----

libsofia-sip-ua/su/poll.c

The package also contains files from GNU C Library by Free Software Foundation.
These files are distributed with the following copyright notice:
Copyright (C) 1994,1996,1997,1998,1999,2001,2002 Free Software Foundation, Inc.
This file is part of the GNU C Library.
The GNU C Library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.
The GNU C Library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with the GNU C Library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA.

MEMO

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK™
環境を考えて大豆インクを使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことを推奨します。

当社ホームページ：
［NTT東日本］http://web116.jp/ced/
［NTT西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■ NTT 東日本エリア (北海道、東北、関東、甲信越地区) でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： FREE **0120-970413** (9:00 ～ 17:00)
携帯電話・PHS・050IP 電話からご利用の場合
03-5667-7100（通話料金がかかります）
※ 年末年始　12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-768355** (9:00 ～ 17:00)
※ 年末年始　12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア (東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区) でご利用のお客様

●本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： FREE **0120-248995**
（携帯電話・PHS からもご利用可能です。）

□受付時間
・本商品のお取扱いに関するお問合わせ：
9：00 ～ 17：00（年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日を除く）
・故障に関するお問合わせ：24 時間（年中無休）※
※ 17:00 ～翌日 9:00 までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※ 故障修理対応時間は 9：00 ～ 17：00 です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

© 2012 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本 3218-3 (2012.11)
ヒカリ DUETTO　トリセツ